(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第6792099号
(P6792099)
(45)発行日　令和2年11月25日(2020.11.25)　(24)登録日　令和2年11月9日(2020.11.9)

(51)Int.Cl.　　F I
G06Q 30/06 (2012.01)　　G06Q 30/06 350
G06F 16/9032 (2019.01)　　G06Q 30/06 312
　　G06F 16/9032

請求項の数 8　(全 39 頁)

(21)出願番号　特願2020-518737(P2020-518737)
(86)(22)出願日　令和1年9月18日(2019.9.18)
(86)国際出願番号　PCT/JP2019/036542
(87)国際公開番号　WO2020/059747
(87)国際公開日　令和2年3月26日(2020.3.26)
審査請求日　令和2年3月31日(2020.3.31)
(31)優先権主張番号　特願2018-173455(P2018-173455)
(32)優先日　平成30年9月18日(2018.9.18)
(33)優先権主張国・地域又は機関
日本国(JP)

早期審査対象出願

(73)特許権者　517180187
今福　洋介
東京都港区六本木６丁目１０番１号　六本木ヒルズ森タワー３４階
(74)代理人　100126000
弁理士　岩池　満
(74)代理人　100154748
弁理士　菅沼　和弘
(72)発明者　今福　洋介
東京都港区六本木６丁目１０番１号　六本木ヒルズ森タワー３４階　株式会社リアライズコーポレーション内

審査官　田川　泰宏

最終頁に続く

(54)【発明の名称】情報処理装置

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
物の貸し出しを希望する１以上の第１ユーザと、当該物の借り入れを希望する１以上の第２ユーザとを支援する情報処理装置であって、
前記１以上の第１ユーザの夫々から提供された、前記物に関する情報を、出品情報として取得する出品取得手段と、
前記出品取得手段により取得された１以上の前記出品情報を、前記１以上の第２ユーザに提示する出品提示手段と、
前記第２ユーザから、前記物を借り入れたい旨の申請があった場合に、これを借入申請として受け付ける借入受付手段と、
前記第１ユーザに対し、前記借入申請があった旨を提示する借入提示手段と、
前記借入申請を行った前記第２ユーザに対し、前記物の借り入れに必要となる費用を提示する費用提示手段と、
前記費用の決済が完了した場合に、当該決済の完了を示す情報を取得する決済取得手段と、
前記費用のうち所定額を売上額として計上し、これを管理する売上管理手段と、
前記決済が完了した旨を前記第１ユーザに提示する決済提示手段と、
前記１以上の第１ユーザの夫々から、前記売上額のうち少なくとも一部を引出したい旨の申請があった場合に、これを引出申請として受け付ける引出受付手段と、
前記引出申請の内容に基づいて、前記売上額のうち前記１以上の第１ユーザの夫々が引

出すことができる額を決定する引出決定手段と、
を備える情報処理装置。
【請求項２】
前記第１ユーザは、前記物の貸し出しの希望に加えて、当該物の売却の希望が可能であり、
前記第２ユーザは、前記物の借り入れの希望に加えて、当該物の買い取りの希望が可能であり、
前記１以上の第１ユーザの夫々から提供された前記出品情報には、前記物の売却の可否に関する情報が夫々含まれており、
前記１以上の第２ユーザのうち所定の者から前記物を買い取りたい旨の申請があった場合に、これを買取申請として受け付ける買取受付手段と、
前記１以上の第１ユーザのうち、前記物の売却の可否に関する前記情報として当該物の売却が可能である旨を示す情報が含まれる前記出品情報を提供した者に対し、前記買取申請があった旨を提示する買取提示手段と、
をさらに備える、
請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項３】
前記出品情報には、前記物の撮像画像が含まれ、
前記物の借入期間の満了時に、当該満了時の前記物の撮像画像を少なくとも含む返却情報を受け付ける返却受付手段と、
前記出品情報に含まれる撮像画像と、前記返却情報に含まれる撮像画像とを比較し、差異点を抽出する比較抽出手段と、
をさらに備える、
請求項１又は２に記載の情報処理装置。
【請求項４】
前記第２ユーザが前記物を受け取った時点における、前記物の現物の形態と、前記出品情報に含まれる撮像画像に表示された前記物の形態との間の差異について、前記物を借り入れた前記第２ユーザによる承認がなされた場合に、これを受け付ける借入承認受付手段と、
前記第１ユーザに前記物が返却された時点における、前記物の現物の形態と、前記返却情報に含まれる撮像画像に表示された前記物の形態との間の差異について、前記物を貸し出した前記第１ユーザによる承認がなされた場合に、これを受け付ける返却承認受付手段と、
をさらに備える、
請求項３に記載の情報処理装置。
【請求項５】
前記物に関連する他の物の取引実績を取得する関連取得手段と、
取得された前記他の物の取引実績に基づいて、前記物の前記費用の価格帯を提示する参考額提示手段と、
をさらに備える、
請求項１乃至４のうちいずれか１項に記載の情報処理装置。
【請求項６】
前記物を借り入れた前記第２ユーザからの、当該物を貸し出した前記第１ユーザと当該物のうち少なくとも一方に関する評価、又は、当該物を貸し出した前記第１ユーザからの、当該物を借り入れた前記第２ユーザと当該物のうち少なくとも一方に関する評価を受け付ける評価受付手段をさらに備え、
前記参考額提示手段は、前記物についての前記費用の履歴及び前記評価受付手段により受け付けられた前記評価の履歴と、前記物に関連する他の物についての前記費用の履歴及び前記評価受付手段により受け付けられた前記評価の履歴とをさらに提示する、
請求項５に記載の情報処理装置。

【請求項７】
前記出品提示手段は、前記１以上の前記出品情報として、前記物の受け渡しを行う場所に関する情報を少なくとも含む情報を前記１以上の第２ユーザに提示する、
請求項１乃至６のうちいずれか１項に記載の情報処理装置。
【請求項８】
前記第１ユーザから前記第２ユーザに貸し出される前記物には、当該第２ユーザから当該第１ユーザに対して譲渡された物であって、当該第２ユーザが継続して使用する物が含まれる、
請求項１乃至７のうちいずれか１項に記載の情報処理装置。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、情報処理装置に関する。
【背景技術】
【０００２】
過去には、家や家電、自動車などは新品で購入するのが当たり前であり、これらを資産として保有することこそが幸せのバロメーターとする価値観が幅を利かせる時代があった。しかしながら、ＢｔｏＣ（Ｂｕｓｉｎｅｓｓ　ｔｏ　Ｃｏｎｓｕｍｅｒ）、即ち企業が一般消費者を対象に行うビジネスとして、様々な物を対象とした中古市場やレンタル市場が生まれた。これは上述の価値観とは異なる価値観を持つ人々が増えてきていることを示している。持ち家率の低下や、高所得者層と低所得者層とからなる年収の２極化は、そういった価値観の変化に伴い生じた事象であるという見方もある。
このため、現代社会では、個人が保有する資産を上手に生かして、需要者と供給者とをマッチングさせる手法が多く利用されるようになってきている。これは、欲しいときに欲しい物を効率よく手に入れ、いらない物は安易に捨てずに、それを必要とする誰かに使ってもらおうとする考え方を持つ人々が増えてきていることを示している。フリーマーケット等の個人間の売買、オークション、民泊は、いずれも上述の考え方を反映させたＣｔｏＣ（Ｃｏｎｓｕｍｅｒ　ｔｏ　Ｃｏｎｓｕｍｅｒ）の取引の一例である。
このような状況の中、各種情報をマッチングさせるシステム（特許文献１参照）や、ＣｔｏＣの取引を行うための各種サービスは既に提供されている（非特許文献１乃至３参照）。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００３】
【特許文献１】特開２０１５－１２９９８３号公報
【非特許文献】
【０００４】
【非特許文献１】「メルカリ」（ｈｔｔｐｓ：／／ｗｗｗ．ｍｅｒｃａｒｉ．ｃｏｍ／ｊｐ／）
【非特許文献２】「ヤフオク！」（ｈｔｔｐｓ：／／ａｕｃｔｉｏｎｓ．ｙａｈｏｏ．ｃｏ．ｊｐ／）
【非特許文献３】「ＳＴＡＹ　ＪＡＰＡＮ」（ｈｔｔｐｓ：／／ｓｔａｙｊａｐａｎ．ｃｏｍ／）
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００５】
しかしながら、特許文献１、及び非特許文献１乃至３の技術を含む従来の技術では、ＣｔｏＣの電子商取引の対象に、物のレンタルを含んでいない。即ち、物を貸し出すことを希望する１以上の個人と、当該物の借り入れを希望する１以上の個人とのマッチングを効率よく行うことはできない。

【０００６】
本発明は、このような状況に鑑みてなされた物であり、物を貸し出すことを希望する１以上の個人と、当該物の借り入れを希望する１以上の個人とのマッチングを効率よく行うことができる、ＣｔｏＣレンタルプラットフォームを提供することを目的とする。
【課題を解決するための手段】
【０００７】
上記目的を達成するため、本発明の一態様の情報処理装置は、
物の貸し出しを希望する１以上の第１ユーザと、当該物の借り入れを希望する１以上の第２ユーザとを支援する情報処理装置であって、
前記１以上の第１ユーザの夫々から提供された、前記物に関する情報を、出品情報として取得する出品取得手段と、
前記出品取得手段により取得された１以上の前記出品情報を、前記１以上の第２ユーザに提示する出品提示手段と、
前記第２ユーザから、前記物を借り入れたい旨の申請があった場合に、これを借入申請として受け付ける借入受付手段と、
前記第１ユーザに対し、前記借入申請があった旨を提示する借入提示手段と、
を備える。
【発明の効果】
【０００８】
本発明によれば、物を貸し出すことを希望する１以上の個人と、当該物の借り入れを希望する１以上の個人とのマッチングを効率よく行うことができる、ＣｔｏＣレンタルプラットフォームを提供することができる。
【図面の簡単な説明】
【０００９】
【図１】本発明の情報処理装置の一実施形態に係る管理サーバを含む情報処理システムの構成の概要を示す図である。
【図２】本サービスの基本的な流れを示すイメージ図である。
【図３】本サービスにおいて借入申請者から支払われた料金の流れを示すイメージ図である。
【図４】図１の管理サーバのハードウェア構成を示すブロック図である。
【図５】図４の管理サーバの機能的構成の一例を示す機能ブロック図である。
【図６】貸手端末及び借手端末に表示されたＧＵＩ（グラフィカルユーザインタフェース）を介して借入申請を行う場合の例を示す図である。
【図７】図６に表示されたカテゴリのうち、「ファッション」のカテゴリを示すボタンが押下された場合に、貸手端末及び借手端末に表示される画面の具体例を示す図である。
【図８】図７に表示されたボタンが押下された場合に、貸手端末及び借手端末に表示される画面の具体例を示す図である。
【図９】図８に表示されたボタンが押下された場合に、貸手端末及び借手端末に表示される画面の具体例を示す図である。
【図１０】貸手端末及び借手端末に表示されるマイページの具体例を示す図である。
【図１１】新規出品の操作を行う場合の操作画面の具体例を示す図である。
【図１２】借手ユーザの所望する出品物が属すると予想されるカテゴリを選択する操作を行う場合に、借手端末に表示される操作画面の具体例を示す図である。
【図１３】借手ユーザの所望する出品物を探し出すための検索操作を行う場合に、借手端末に表示される操作画面の具体例を示す図である。
【図１４】借手ユーザの所望する出品物の受け渡し場所を確認する操作を行う場合に、借手端末に表示される操作画面の具体例を示す図である。
【図１５】貸手ユーザ及び借手ユーザの夫々が、出品物毎の貸出しの履歴を確認する操作を行う場合に、貸手端末及び借手端末の夫々に表示される操作画面の具体例を示す図である。

【図１６】物をレンタルしている借手ユーザが、レンタル期間の延長申請を行う場合の処理の流れを示すイメージ図である。
【図１７】借手ユーザがレンタル期間の延長申請を行う場合に、借手端末に表示されるの操作画面の具体例を示す図である。
【図１８】商品を貸している貸手ユーザが、レンタル期間の延長申請に対応する操作を行う場合に、貸手端末に表示される操作画面の具体例を示す図である。
【図１９】出品物の撮像手法の具体例を示す図である。
【発明を実施するための形態】
【００１０】
以下、本発明の実施形態について図面を用いて説明する。
【００１１】
［システム構成］
図１は、本発明の情報処理装置の一実施形態に係る管理サーバ１を含む情報処理システムの構成の概要を示す図である。
【００１２】
図１に示す情報処理システムは、管理サーバ１と、貸手端末２－１乃至２－ｎ（ｎは１以上の任意の整数値）と、借手端末３－１乃至３－ｍ（ｍは１以上の任意の整数値）と、決済サーバ４とが、インターネット等の所定のネットワークＮを介して相互に接続されることで構成される。
管理サーバ１は、ＣｔｏＣレンタルサービス（以下、「本サービス」と呼ぶ）を提供する本サービス提供者Ｍが管理する情報処理装置である。管理サーバ１は、貸手端末２－１乃至２－ｎ、及び借手端末３－１乃至３－ｍの各動作を管理すべく、各種処理を実行する。
貸手端末２－１乃至２－ｎの夫々は、物の貸し出しを希望するユーザ（以下、「貸手ユーザ」と呼ぶ）ＵＬ１乃至ＵＬｎの夫々が操作する情報処理装置であって、例えばパーソナルコンピュータ、スマートフォン、タブレット等で構成される。
借手端末３－１乃至３－ｍの夫々は、物の借り入れを希望するユーザ（以下、「借手ユーザ」と呼ぶ）ＵＢ１乃至ＵＢｍの夫々が操作する情報処理装置であって、例えばパーソナルコンピュータ、スマートフォン、タブレット等で構成される。
なお、以下、貸手ユーザＵＬ１乃至ＵＬｎ、貸手端末２－１乃至２－ｎ、借手ユーザＵＢ１乃至ＵＢｍ、及び借手端末３－１乃至３－ｍの夫々を個々に区別する必要がない場合、これらをまとめて、「貸手ユーザＵＬ」、「貸手端末２」、「借手ユーザＵＢ」、及び「借手端末３」の夫々と呼ぶ。
決済サーバ４は、決済サービスを提供する決済サービス提供者Ｐが管理する情報処理装置であり、管理サーバ１により生成される決済情報に基づいて決済処理を行う。
【００１３】
貸手ユーザＵＬ及び借手ユーザＵＢの夫々は、本サービスの利用者向けの専用のアプリケーションソフトウェア（以下、「専用アプリ」と呼ぶ）がインストールされた貸手端末２及び借手端末３の夫々を用いて本サービスを利用することができる。
また、貸手ユーザＵＬ及び借手ユーザＵＢの夫々は、貸手端末２及び借手端末３の夫々のブラウザ機能により表示される、本サービスの利用者向けの専用のＷｅｂサイト（以下、「専用サイト」と呼ぶ）から本サービスを利用することもできる。
なお、以下、断りのない限り、「貸手ユーザＵＬが貸手端末２を操作する」と表現している場合、それは、次のいずれかを意味している。即ち、貸手ユーザＵＬが、貸手端末２にインストールされた専用アプリを起動して各種操作を行うこと、又は貸手端末２のブラウザ機能により表示される専用サイトから本サービスを利用することを意味している。
また、「借手ユーザＵＢが借手端末３を操作する」と表現している場合、それは、次のいずれかを意味している。即ち、借手ユーザＵＢが、借手端末３にインストールされた専用アプリを起動して各種操作を行うこと、又は借手端末３のブラウザ機能により表示される専用サイトから本サービスを利用することを意味している。

【００１４】
［サービス内容］
次に、図２及び図３を参照して、本発明の情報処理装置の一実施形態である管理サーバ１が実行する各種処理により実現できる、本サービスの流れについて説明する。
図２は、本サービスの基本的な流れを示すイメージ図である。なお、図２及び後述する図３には、貸手ユーザＵＬと、借手ユーザＵＢとが夫々１人ずつ記載されているが、これは本サービスの流れをわかり易く説明するために簡略化させたものである。実際には、本サービスにおける貸手ユーザＵＬ、及び借手ユーザＵＢは、いずれも複数存在し得る。
【００１５】
ステップＳＳ１において、貸手ユーザＵＬは、本サービスの提供を受けるために、貸手端末２を操作することにより、本サービスへのユーザ登録を行う。
ステップＳＳ２において、貸手ユーザＵＬは、貸手端末２を操作することにより、貸し出しを希望する物に関する情報（以下、「出品情報」と呼ぶ）を本サービスに登録する。出品情報が登録されると、この物は、本サービスに「出品」された「出品物」として取り扱われ、出品物を出品した貸手ユーザＵＬは、「出品者」として取り扱われることとなる。
ここで、本サービスに登録される出品情報の内容は特に限定されず、出品物に関するあらゆる情報を出品情報として登録することができる。具体的には例えば、出品物の名称、種類、性質、大きさ、重さ、購入価格、希望レンタル料、レンタル期間、売却の可否等についてのテキスト情報や、出品物の撮像画像に基づく画像情報を出品情報に含めることができる。
なお、本サービスにおいて出品物の対象となる物は、レンタルの対象となる物であれば特に限定されない。具体的には例えば、衣服やテントなどキャンプ用品、ゴルフクラブや釣り用品、スーツケース、ゲーム機、タブレットやパソコン、ＯＡ機器、腕時計、土地、スペース、家、家具や什器、自動車やバイク、本、ＣＤやレコード、カメラ、靴、アクセサリー、バッグ、特殊工具、ベビーカー等の育児用品はいずれもレンタルの対象となる物である。
【００１６】
ステップＳＳ３において、借手ユーザＵＢは、本サービスの提供を受けるために、借手端末３を操作することにより、本サービスへのユーザ登録を行う。
ここで、ステップＳＳ１でユーザ登録された貸手ユーザＵＬと、ステップＳＳ３でユーザ登録された借手ユーザＵＢとは、いずれも本サービスの提供を受けるユーザとして、特に差別化されることなく登録されている。このため、貸手ユーザＵＬは、借手ユーザＵＢとしてのサービスを受けることもできるし、借手ユーザＵＢは、貸手ユーザＵＬとしてのサービスを受けることもできる。即ち、本サービスにユーザ登録すると、物を貸し出すユーザとして参加することもできるし、物を借り入れるユーザとして参加することもできる。
【００１７】
ステップＳＳ４において、借手ユーザＵＢは、本サービスに出品された出品物の中に、自身が借り入れを希望するものがあれば、その出品物の借り入れの申請（以下、「借入申請」と呼ぶ）を行う。また、借手ユーザＵＢは、必要に応じて保険の申請を行う。なお、本サービスでは、出品物に対し借入申請を行った借手ユーザＵＢを「借入申請者」とも呼ぶ。
借手端末３には、１以上の出品物が、出品情報とともに表示される。借手端末３に表示された１以上の出品物の中に、借手ユーザＵＢが借り入れを希望するものがあった場合、借手ユーザＵＢは、借手端末３を操作することにより、その出品物について借入申請を行う。なお、借入申請を行うための操作の具体的例については、図６乃至図８を参照して後述する。
【００１８】
借手ユーザＵＢが借入申請を行った結果、出品物を借り入れることになると、借入申請

を行った借手ユーザＵＢは、出品情報に含まれる希望レンタル料による決済を行う。なお、決済の流れについては、図３を参照して後述する。

【００１９】

ステップＳＳ５において、貸手ユーザＵＬは、借入申請を行った借手ユーザＵＢに対し、出品物を送付する。出品物を受領した借手ユーザＵＢは、送付されてきた出品物の現物と、出品情報に含まれる出品物の撮像画像とを比較し、問題がなければ出品物の利用を開始する。具体的には、出品物が借手ユーザＵＢに送付されると、出品物を受け取った借手ユーザＵＢは、目視により、貸手ユーザＵＬにより提供された出品情報に含まれる出品物の撮像画像と、現物との比較を行う。借手ユーザＵＢの目視による比較の結果、撮像画像と現物との間に差異がない場合、又は差異が看過できる範囲内の物である場合には、借手ユーザＵＢは、借手端末３を操作することにより、そのままレンタルを開始する旨を示す情報を管理サーバ１に送信する。具体的には例えば、図示はしないが、借手端末３に表示された「承認」ボタンや「レンタル開始」ボタンを押下することで、レンタルを開始する旨を示す情報を管理サーバ１に送信する。すると、管理サーバ１は、この情報を受信し、借手ユーザＵＢによりレンタル開始の承認がなされた旨を受け付ける。

これに対し、送付されてきた出品物の現物と撮像画像との比較の結果、看過できない差異が発見された場合、借入申請者は、出品物の利用を見送る（即ち開始しない）。この場合、借入申請者は、例えば借手端末３に表示された「承認」ボタンや「レンタル開始」ボタンを押下せずに、出品物を送付元に返却する。

また例えば、決済処理完了後の返金を認めるシステム環境であれば、借入申請者は、本サービスを介して出品者と交渉を行い、レンタル料の一部を返金してもらうことでレンタルを開始したり、全額返金とともにレンタルをキャンセルしたりすることができる。このような交渉は、本サービスで提供されるユーザ間のコミュニケーションツールを利用して直接的に行ってもよいし、本サービス提供者Ｍを介して間接的に行ってもよい。

【００２０】

ステップＳＳ６において、借手ユーザＵＢは、出品物の出品者に対し、レンタル期間の満了日までに出品物を返却する。貸手ユーザＵＬは、出品物が返却されると、返却されてきた出品物の現物と、出品情報に含まれる出品物の撮像画像とを比較し、問題がなければ本サービスは完了する。

ここで、返却されてきた出品物の現物と撮像画像との比較の結果、看過できない差異が発見された場合、出品者は、本サービスを介して借入申請者と交渉を行い、例えば以下のような措置を講ずることができる。即ち、出品者は、決済が完了したレンタル料の追加料金を請求するか、あるいは、出品物を買い上げてもらうことができる。このような交渉は、本サービスで提供されるユーザ間のコミュニケーションツール（図８及び図９）を利用して直接的に行ってもよいし、本サービス提供者Ｍを介して間接的に行ってもよい。

【００２１】

図３は、本サービスにおいて借入申請者から支払われた料金の流れを示すイメージ図である。

【００２２】

ステップＳＳ２１において、借入申請者としての借手ユーザＵＢは、レンタル料金の決済を行う。具体的には、借手ユーザＵＢは、借手端末３を操作することにより、決済サービス提供者Ｐに対し、レンタル料の決済処理を依頼する。また、借手ユーザＵＢが保険料や送料を負担している場合には、レンタル料、保険料、及び送料（以下、「レンタル料等」と呼ぶ）の決済処理を決済サービス提供者Ｐに依頼する。

【００２３】

借手ユーザＵＢからの依頼に基づきレンタル料等の決済処理を行った決済サービス提供者Ｐは、ステップＳＳ２２において、本サービス提供者Ｍに対し、決済金額から所定の手数料を差し引いた額（以下、「売上額」と呼ぶ）を送金する。

ステップＳＳ２３において、本サービス提供者Ｍは、送金されてきた売上額をプールする。

【００２４】
ステップＳＳ２４において、出品者である貸手ユーザＵＬは、本サービス提供者Ｍにプールされている売上額のうち、本サービスの利用料金を差し引いた額の範囲内で、現金の引き出しを行う。具体的には、出品者である貸手ユーザＵＬは、貸手端末２を操作することにより、売上額のうち、本サービスの利用料金を差し引いた額の範囲内で、現金を引き出したい旨の申請（以下、「引出申請」と呼ぶ）を行う。
【００２５】
ステップＳＳ２５において、本サービス提供者Ｍは、出品者である貸手ユーザＵＬからの引出申請の内容に基づいて、現金の入金処理を行う。具体的には、本サービス提供者Ｍは、出品者である貸手ユーザＵＬからの引出申請の内容に基づいて、決済サービスを介した入金処理を行う。なお、決済サービスを介した入金処理を行うことなく、本サービス提供者Ｍの口座から直接入金されるようにしてもよい。
【００２６】
［ハードウェア構成］
次に、本サービスを提供するために各種処理を実行する管理サーバ１のハードウェア構成について説明する。
図４は、図１の管理サーバ１のハードウェア構成を示すブロック図である。
【００２７】
管理サーバ１は、ＣＰＵ（Ｃｅｎｔｒａｌ　Ｐｒｏｃｅｓｓｉｎｇ　Ｕｎｉｔ）１１と、ＲＯＭ（Ｒｅａｄ　Ｏｎｌｙ　Ｍｅｍｏｒｙ）１２と、ＲＡＭ（Ｒａｎｄｏｍ　Ａｃｃｅｓｓ　Ｍｅｍｏｒｙ）１３と、バス１４と、入出力インターフェース１５と、出力部１６と、入力部１７と、記憶部１８と、通信部１９と、ドライブ２０とを備えている。
【００２８】
ＣＰＵ１１は、ＲＯＭ１２に記録されているプログラム、又は、記憶部１８からＲＡＭ１３にロードされたプログラムに従って各種の処理を実行する。
ＲＡＭ１３には、ＣＰＵ１１が各種の処理を実行する上において必要なデータ等も適宜記憶される。
【００２９】
ＣＰＵ１１、ＲＯＭ１２及びＲＡＭ１３は、バス１４を介して相互に接続されている。このバス１４にはまた、入出力インターフェース１５も接続されている。入出力インターフェース１５には、出力部１６、入力部１７、記憶部１８、通信部１９及びドライブ２０が接続されている。
【００３０】
出力部１６は各種液晶ディスプレイ等で構成され、各種情報を出力する。
入力部１７は、各種ハードウェア鉛等で構成され、各種情報を入力する。
記憶部１８は、ＤＲＡＭ（Ｄｙｎａｍｉｃ　Ｒａｎｄｏｍ　Ａｃｃｅｓｓ　Ｍｅｍｏｒｙ）等で構成され、各種データを記憶する。
通信部１９は、インターネットを含むネットワークＮを介して他の装置（例えば図１の貸手端末２－１乃至２－ｎ、借手端末３－１乃至３－ｍ、及び決済サーバ４）との間で行う通信を制御する。
【００３１】
ドライブ２０は、必要に応じて設けられる。ドライブ２０には磁気ディスク、光ディスク、光磁気ディスク、或いは半導体メモリ等よりなる、リムーバブルメディア４０が適宜装着される。ドライブ２０によってリムーバブルメディア４０から読み出されたプログラムは、必要に応じて記憶部１８にインストールされる。またリムーバブルメディア４０は、記憶部１８に記憶されている各種データも、記憶部１８と同様に記憶することができる。
【００３２】
［機能的構成］
次に、管理サーバ１の機能について、図５を参照して説明する。

図５は、図４の管理サーバ１の機能的構成の一例を示す機能ブロック図である。

【００３３】

図５に示すように、管理サーバ１のＣＰＵ１１においては、マッチング処理が実行される場合には、出品取得部１０１と、出品提示部１０２と、借入受付部１０３と、借入提示部１０４とが機能する。売上管理処理が実行される場合には、費用提示部１０５と、決済取得部１０６と、売上管理部１０７と、決済提示部１０８と、引出受付部１０９と、引出決定部１１０とが機能する。オーナーチェンジ処理が実行される場合には、買取受付部１１１と、買取提示部１１２とが機能する。画像診断処理が実行される場合には、返却受付部１１３と、比較抽出部１１４と、借入承認受付部１１５と、返却承認受付部１１６とが機能する。適正額決定処理が実行される場合には、関連取得部１１７と、参考額提示部１１８とが機能する。

記憶部１８の一領域には、ユーザＤＢ４０１と、出品ＤＢ４０２とが設けられている。

【００３４】

マッチング処理とは、貸手ユーザＵＬ１乃至ＵＬｎの夫々と、借手ユーザＵＢ１乃至ＵＢｍの夫々とのマッチングを行う処理をいう。

【００３５】

売上管理処理とは、借手ユーザＵＢ１乃至ＵＢｍの夫々により支払われるレンタル料の夫々を、貸手ユーザＵＬ１乃至ＵＬｎの夫々における売上額として管理する処理をいう。

【００３６】

オーナーチェンジ処理とは、レンタル中であるというステータスを変更することなくレンタル料を受け取る権利を所有権とともに移転させる処理をいう。所有権の移転先は、本サービス提供者Ｍ又は借手ユーザＵＢのいずれかとなる。オーナーチェンジ処理は、貸手ユーザＵＬが、物品を出品する際に、物品の売却の意思を明示している場合にのみ実行することができる処理となる。なお、オーナーチェンジ処理の具体的態様は、図６乃至図１０を参照して後述する。

【００３７】

画像診断処理とは、出品時と返却時との夫々のタイミングで撮像された出品物の撮像画像を比較し、差異点を抽出する処理をいう。これにより、レンタル期間中に生じた出品物の形態（形状、模様、色彩等）の変化を診断することができる。

ここで、撮像画像を比較する具体的手法は特に限定されない。例えば、出品時と返却時との夫々のタイミングで、同一の距離及び角度で撮像された撮像画像を重ね合わせることで差異点を抽出する手法や、撮像画像から所定の特徴量を抽出して比較する手法等を採用することができる。なお、出品物の撮影する際の具体的手法については、図１２を参照して後述する。

【００３８】

目安額提案処理とは、貸手ユーザＵＬが出品時に定めるレンタル料の目安となる金額を算出して提案する処理をいう。レンタル料の目安となる金額の具体的算出手法は特に限定されない。具体的には例えば、貸手ユーザＵＬが出品しようとする物品に関する過去の取引実績に基づいて、レンタル料の目安となる金額を算出する場合や、各種オークションで過去に落札された金額の平均額に基づいて、レンタル料の目安となる金額を算出する場合等がある。

このように、オークション等に出品されている類似商品の取引実績から、オークションで落札された金額の平均価格を算出することもできる。これにより、この平均価格に基づいて、目標とする利回り、経年による減価率、レンタル期間等に連動したレンタル料を試算することができる。

【００３９】

（ＣＰＵ）

出品取得部１０１は、１以上の第１ユーザの夫々から提供された、物に関する情報を、出品情報として夫々取得する。

具体的には、出品取得部１０１は、本サービスのユーザとして登録された貸手ユーザＵ

Ｌ１乃至ＵＬｎの夫々から提供された出品情報を取得する。取得された出品情報は、出品ＤＢ４０２に記憶されて管理される。

【００４０】

出品提示部１０２は、出品取得手段により取得された１以上の出品情報を、１以上の第２ユーザに提示する。

具体的には、出品提示部１０２は、出品取得部１０１により取得された１以上の出品情報を、借手ユーザＵＢ１乃至ＵＢｍに提示する。これにより、借手ユーザＵＢ１乃至ＵＢｍは、出品物及びその内容を認識することができる。

【００４１】

出品提示部１０２により提示される１以上の出品情報には、物の受け渡しを行う場所に関する情報を含めることができる。

これにより、借手ユーザＵＢ１乃至ＵＢｍは、物の受け渡しを行う場所を含めて出品物及びその内容を認識することができる。

なお、「物の受け渡しを行う場所に関する情報」の具体例については、図１４を参照して後述する。

【００４２】

また、出品提示部１０２は、１以上の第２ユーザに示した１以上の出品情報の履歴を、第１ユーザ及び第２ユーザに提示する。

具体的には、出品提示部１０２は、借手ユーザＵＢ１乃至ＵＢｍに提示した１以上の出品情報の履歴を、貸手ユーザＵＬ１乃至ＵＬｎ、及び借手ユーザＵＢ１乃至ＵＢｍに提示する。

これにより、貸手ユーザＵＬ１乃至ＵＬｎ、借手ユーザＵＢ１乃至ＵＢｍは、借手ユーザＵＢ１乃至ＵＢｍに提示した１以上の出品情報の履歴を確認することができる。

なお、「１以上の出品情報の履歴」の具体例については、図９及び図１５を参照して後述する。

【００４３】

借入受付部１０３は、第２ユーザから、物を借り入れたい旨の申請があった場合に、これを借入申請として受け付ける。

具体的には、借入受付部１０３は、借手ユーザＵＢから、貸手ユーザＵＬにより出品されている物うち、いずれかを借り入れたい旨の申請があった場合に、これを借入申請として受け付ける。

【００４４】

また、借入受付部１０３は、第２ユーザから、物の借り入れる期間を延長したい旨の申請があった場合に、これを延長申請として受け付ける。

具体的には、借入受付部１０３は、借手ユーザＵＢから、レンタル期間を延長したい旨の申請があった場合に、これを延長申請として受け付ける。

なお、借手ユーザＵＢが「延長申請」を行う場合の具体例については、図１７を参照して後述する。

【００４５】

借入提示部１０４は、第１ユーザに対し、借入申請があった旨を提示する。

具体的には、借入提示部１０４は、出品者である貸手ユーザＵＬに対し、借手ユーザＵＢから借入申請があった旨を提示する。

【００４６】

また、借入提示部１０４は、第１ユーザに対し、延長申請があった旨を提示する。

具体的には、借入提示部１０４は、出品者である貸手ユーザＵＬに対し、借手ユーザＵＢから延長申請があった旨を提示する。

なお、貸手ユーザＵＬに提示される「延長申請」の具体例については、図１８を参照して後述する。

【００４７】

費用提示部１０５は、借入申請を行った第２ユーザに対し、物の借り入れに必要となる

費用を提示する。
具体的には、費用提示部１０５は、借入申請を行った借手ユーザＵＢに対し、物の借り入れに必要となる、レンタル料等を提示する。
【００４８】
また、費用提示部１０５は、延長申請を行った第２ユーザに対し、物を借り入れる期間の延長に必要となる費用を提示する。
具体的には、費用提示部１０５は、延長申請を行った借手ユーザＵＢに対し、レンタル期間の延長に必要となる、追加のレンタル料等を提示する。
【００４９】
決済取得部１０６は、費用の決済が完了した場合に、決済の完了を示す情報を取得する。
具体的には、決済取得部１０６は、決済サーバ４によるレンタル料等の決済処理が完了した場合に、決済処理の完了を示す情報を取得する。取得された決済処理の完了を示す情報は、出品ＤＢ４０２に記憶されて管理される。
【００５０】
売上管理部１０７は、前記費用のうち所定額を売上額として計上し、これを管理する。
具体的には、売上管理部１０７は、レンタル料等のうち、決済サービス提供者Ｐが取得すべき金額を差し引いた残額を、売上額として計上し、これを管理する。
【００５１】
決済提示部１０８は、決済が完了した旨を第１ユーザに提示する。
具体的には、決済提示部１０８は、決済サーバ４による決済処理が完了した場合に、その旨を貸手ユーザＵＬに提示する。ここで、決済処理が完了した旨を貸手ユーザＵＬに提示する具体的手法は特に限定されない。例えば、決済処理が完了した旨を貸手端末２に表示させてもよいし、メールやＳＮＳ（Ｓｏｃｉａｌ　Ｎｅｔｗｏｒｋｉｎｇ　Ｓｅｒｖｉｃｅ）等のコミュニケーションツール等を用いて貸手ユーザＵＬに知らせてもよい。
【００５２】
引出受付部１０９は、１以上の第１ユーザの夫々から、売上額のうち少なくとも一部を引出したい旨の申請があった場合に、これを引出申請として受け付ける。
具体的には、貸手ユーザＵＬは、出品物についての売上額を現金化したいと考えた場合、貸手端末２を操作することにより、本サービス提供者Ｍに対し引出申請を行う。すると、引出受付部１０９は、これを貸手ユーザＵＬからの引出申請として受け付ける。
【００５３】
引出決定部１１０は、引出申請の内容に基づいて、売上額のうち１以上の第１ユーザの夫々が引出すことができる額を決定する。
具体的には、引出決定部１１０は、貸手ユーザＵＬからの引出申請の内容に基づいて、売上額のうち貸手ユーザＵＬが引出すことができる額を決定する。売上額のうち貸手ユーザＵＬが引出すことができる額は、売上額から、貸手ユーザＵＬが負担すべきサービス利用料金を差し引いた額となる。
【００５４】
買取受付部１１１は、物を借り入れた第２ユーザから、物を買い取りたい旨の申請があった場合に、これを買取申請として受け付ける。
出品物を借り入れた借手ユーザＵＢは、レンタルしている出品物を買い取りたいと考える場合がある。上述したように、出品時に貸手ユーザＵＬから提供される出品情報には、出品物の売却の可否に関する情報が含まれる。このため、出品物に売却の意思が認められている場合、その出品物を借り入れた借手ユーザＵＢは、買取申請を行うことができる。
具体的には、買取受付部１１１は、出品物を借り入れた借手ユーザＵＢから、出品物の買取申請があった場合に、これを受け付ける。
【００５５】
買取提示部１１２は、第１ユーザに対し、買取申請があった旨を提示する。
具体的には、買取提示部１１２は、借手ユーザＵＢから買取申請があった場合、貸手ユ

ーザＵＬに対し、買取申請があった旨を提示する。ここで、借手ユーザＵＢから買取申請があった旨を貸手ユーザＵＬに提示する具体的手法は特に限定されない。例えば、買取申請があった旨を貸手端末２に表示させてもよいし、メールやＳＮＳ等のコミュニケーションツールを用いて貸手ユーザＵＬに知らせてもよい。

【００５６】

返却受付部１１３は、物の借入期間の満了時に、当該満了時の物の撮像画像を少なくとも含む返却情報を受け付ける。

借手ユーザＵＢは、出品物のレンタル期間が満了した時点で、借手端末３を操作することにより、出品物を撮像したうえで、その撮像画像に基づく画像情報を少なくとも含む情報（以下、「返却情報」と呼ぶ）を、管理サーバ１に送信する。すると、返却受付部１１３は、送信されてきた返却情報を受け付ける。

【００５７】

比較抽出部１１４は、出品情報に含まれる撮像画像と、返却情報に含まれる撮像画像とを比較し、差異点を抽出する。

上述したように、出品情報には、出品物の撮像画像が含まれる。比較抽出部１１４は、この出品情報に含まれる撮像画像と、借手端末３から送信されてきた返却情報に含まれる撮像画像とを比較し、差異点を抽出する。

【００５８】

借入承認受付部１１５は、第２ユーザが物を受け取った時点における、物の現物の形態と、前記出品情報に含まれる撮像画像に表示された前記物の形態との間の差異について、物を借り入れた第２ユーザによる承認がなされた場合に、これを受け付ける。

出品物が借手ユーザＵＢに送付されると、出品物を受け取った借手ユーザＵＢは、目視により、貸手ユーザＵＬにより提供された出品情報に含まれる出品物の撮像画像と、現物との比較を行う。借手ユーザＵＢの目視による比較の結果、撮像画像と現物との間に差異がない場合、又は差異が看過できる範囲内の物である場合には、上述したように、借手ユーザＵＢは、借手端末３を操作することにより、そのままレンタルを開始する旨を示す情報を管理サーバ１に送信する。具体的には例えば、図示はしないが、借手端末３に表示された「承認」ボタンや「レンタル開始」ボタンを押下することで、レンタルを開始する旨を示す情報を管理サーバ１に送信する。すると、管理サーバ１は、この情報を受信し、借手ユーザＵＢによりレンタル開始の承認がなされた旨を受け付ける。

これにより、出品情報に含まれる出品物の撮像画像として、新品を撮像した物や、傷等を画像処理で消去したものを使用するような、貸手ユーザＵＬによる不正行為を防ぐことができる。

【００５９】

返却承認受付部１１６は、第１ユーザに物が返却された時点における、物の現物の形態と、返却情報に含まれる撮像画像に表示された物の形態との間の差異について、物を貸し出した第１ユーザによる承認がなされた場合に、これを受け付ける。

出品物が貸手ユーザＵＬに返却されると、出品物を受け取った貸手ユーザＵＬは、目視により、借手ユーザＵＢにより提供された返却情報に含まれる出品物の撮像画像と、現物との比較を行う。貸手ユーザＵＬの目視による比較の結果、撮像画像と現物との間に差異がない場合、又は差異が看過できる範囲内のものである場合には、貸手ユーザＵＬは、貸手端末２を操作することにより、返却が無事に完了した旨を示す情報を管理サーバ１に送信する。具体的には例えば、図示はしないが、貸手端末２に表示された「承認ボタン」や「返却完了」ボタンを押下することで、返却が無事に完了した旨を示す情報を管理サーバ１に送信する。すると、管理サーバ１は、この情報を受信し、貸手ユーザＵＬにより返却の承認がなされた旨を受け付ける。

これにより、返却情報に含まれる出品物の撮像画像として、出品情報に含まれる撮像画像や、レンタル期間中に付いた傷等を画像処理で消去したものを使用するような、借手ユーザＵＢによる不正行為を防ぐことができる。

【００６０】

関連取得部１１７は、物に関連する他の物の取引実績を取得する。
具体的には、関連取得部１１７は、出品物に関連する他の物品のオークション等での取引実績を取得する。
【００６１】
また、関連取得部１１７は、物に関連する他の物の取引実績として、例えば出品物と同一のカテゴリに属する他の出品物など、出品物に類似する他の出品物のレンタル料の実績を取得する。
【００６２】
参考額提示部１１８は、取得された取引実績に基づいて、物の費用の価格帯を提示する。
具体的には、参考額提示部１１８は、関連取得部１１７により取得された、出品物に関連する他の物品のオークション等の取引実績に基づいて、出品物のレンタル料の価格帯を提示する。貸手ユーザＵＬは、出品物のレンタル料を決定する際に、参考となる金額を確認することができる。
【００６３】
また、参考額提示部１１８は、関連取得部１１７により取得された、出品物に類似する他の出品物のレンタル料の実績を提示する。
これにより、例えば貸手ユーザＵＬや借手ユーザＵＢは、出品物と、出品物に属する出品物とを比較しながら、夫々のレンタル料の推移を把握することが可能となる。
なお、「出品物に類似する他の出品物のレンタル料の実績」の具体例については、図１５を参照して後述する。
【００６４】
（記憶部）
ユーザＤＢ４０１には、本サービスにユーザ登録されたユーザ（貸手ユーザＵＬ及び借手ユーザＵＢ）に関する情報（以下、「ユーザ情報」と呼ぶ）が記憶され管理されている。ユーザ情報には、本サービスにユーザ登録されたユーザを一意に識別する情報（ＩＤ等）、名前、住所、連絡先、出品履歴、借入履歴、オーナーチェンジ履歴、他のユーザからの評価等の情報が含まれる。
【００６５】
出品ＤＢ４０２には、本サービスにおいて出品されている出品物の出品情報が記憶され管理されている。
【００６６】
［具体例］
次に、図６乃至図１８を参照して、出品又は借入申請を行うための操作の具体例について説明する。
図６は、貸手端末２及び借手端末３に表示されたＧＵＩ（グラフィカルユーザインタフェース）を介して借入申請を行う場合の例を示す図である。
【００６７】
貸手端末２及び借手端末３に表示される画面のうち、図６に示す画面は、表示領域Ｈ１乃至Ｈ５を含むように構成されている。
【００６８】
表示領域Ｈ１には、本サービスのユーザが貸手ユーザＵＬとして出品する場合に押下されるボタンが表示されている。具体的には、図６に示すように、「新規出品」と表示されたボタンＢ１１と、「レンタル中」と表示されたボタンＢ１２とが表示されている。
ここで、「新規出品」と表示されたボタンＢ１１が押下されると、図１１に示す画面に遷移する。なお、本サービスのユーザが貸手ユーザＵＬとして出品する場合の操作の具体例については、図１１を参照して後述する。
また、「レンタル中」と表示されたボタンＢ１２が押下されると、本サービスのユーザが貸手ユーザＵＬとして貸出中の出品物の一覧が表示される。具体的には例えば、「レンタル中」と表示されたボタンＢ１２が押下されることで図１０に示す画面（マイページ）

に遷移し、貸出中の出品物の一覧が表示されるようにしてもよい。なお、貸出中の出品物の一覧の具体例については、図１０を参照して後述する。

【００６９】

表示領域Ｈ２には、本サービスのユーザが借手ユーザＵＢとして、出品物を借り入れる場合に押下するボタンが表示されている。具体的には、図６に示すように、「ウォッチリスト」と表示されたボタンと、「カテゴリから探す」と表示されたボタンと、カテゴリを示す各種ボタンとして、「ファッション」と表示されたボタンＢ２１、「季節イベント」と表示されたボタン、「本・漫画・雑誌」と表示されたボタン等が表示されている。なお、他のカテゴリを示すボタンの具体的内容については、図６の表示領域Ｈ２に示すとおりである。

【００７０】

表示領域Ｈ３には、ユーザへの告知や広告が表示されている。図６に示す例では、「９月１日～　メンズジャケットキャンペーン開催中！！」という告知が表示されている。表示領域Ｈ３に表示されている告知や広告は、ボタンとして押下することもできる。この場合、図６に示す告知が押下されると、告知の具体的内容の示す専用の画面（図示せず）が表示されるようにしてもよい。

【００７１】

表示領域Ｈ４には、貸手ユーザＵＬ１乃至ＵＬｎから出品された出品物のうち、「季節イベントおすすめ商品」として、メンズジャケットの撮像画像が、出品情報とともに３件ピックアップ表示されている。なお、ここでいう「商品」とは、貸手ユーザＵＬから出品された出品物を意味する。

【００７２】

表示領域Ｈ５には、貸手ユーザＵＬ１乃至ＵＬｎから出品された出品物のうち、「おすすめ商品」として、ハンドバッグの撮像画像と、腕時計の撮像画像とが、出品情報とともに夫々３件ピックアップ表示されている。借手ユーザＵＢは、表示領域Ｈ２乃至Ｈ３に表示された内容を見ることで、所望の出品物を容易に見つけ出すことができる。

【００７３】

表示領域Ｈ４及びＨ５に夫々表示されている出品物の中には、「買い切り」マークＭ４１や、「オーナーチェンジ」マークＭ５１が付されているものがある。

【００７４】

「買い切り」マークＭ４１が付されている出品物は、出品情報に売却の意思が含まれていることを意味する。即ち、貸手ユーザＵＬが所定のレンタル期間が経過したら「そのまま引き渡してもよい」と考えている出品物であることを意味している。具体的には例えば、１００００円の価値がある出品物を、１日あたり１００円で貸し出している場合、レンタル期間が１００日に達した時点で、売り上げたレンタル料の総額が１００００円に達する。この場合、「元は取れた」として、出品物をそのまま引き渡すこととなる。このため、図６の表示領域Ｈ４及びＨ５に夫々表示されている出品物の出品情報には、１日あたりのレンタル料の他に、買い切り金額が表示されている。

【００７５】

また、「オーナーチェンジ」マークＭ５１が付されている出品物は、レンタル中であるというステータスを変更することなくレンタル料を受け取る権利を所有権とともに移転させることができる出品物である。即ち、レンタル料を受け取る権利を留保させたまま、本サービス提供者Ｍや借手ユーザＵＢに所有権を移転させることができる出品物であることを意味している。

【００７６】

図７は、図６の表示領域Ｈ２に表示されたカテゴリのうち、「ファッション」のカテゴリを示すボタンＢ２１が押下された場合に、貸手端末２及び借手端末３に表示される画面の具体例を示す図である。

【００７７】

貸手端末２及び借手端末３に表示される画面のうち、図７に示す画面は、表示領域Ｈ１

１乃至Ｈ１５を含むように構成されている。
【００７８】
表示領域Ｈ１１乃至Ｈ１４には、「ファッション」のカテゴリで抽出された複数の出品物を、他の要素で絞り込むためのボタンや入力欄が表示されている。これにより、借手ユーザＵＢは、所望の出品物を効率よく探し出すことができる。
【００７９】
表示領域Ｈ１１には、「ファッション」のカテゴリで抽出された複数の出品物を、性別等という要素で絞り込むためのボタンが表示されている。具体的には、男性向けの出品物で絞り込むための「男性」と表示されたボタン、女性向けの出品物で絞り込むための「女性」と表示されたボタン、子供向けの出品物で絞り込むための「キッズ」と表示されたボタンがある。
【００８０】
表示領域Ｈ１２には、「ファッション」のカテゴリで抽出された複数の出品物を、ブランドという要素で絞り込むためのボタンが表示されている。具体的には、「ブランド指定」というボタンが表示されている。「ブランド指定」というボタンが押下されると、ブランドを指定するための画面に遷移する。例えば、「ブランド指定」というボタンが押下されると、具体的なブランド名が一覧化されたポップアップ画面が表示されるようにしてもよい。
【００８１】
表示領域Ｈ１３には、「ファッション」のカテゴリで抽出された複数の出品物を、サブカテゴリで絞り込むためのボタンが表示されている。具体的には、トータルコーディネートというサブカテゴリで絞り込むための「トータルコーディネート」ボタン、トップスというサブカテゴリで絞り込むための「トップス」ボタン、さらに、サブカテゴリのサブカテゴリとして、トップスのサブカテゴリである、Ｔシャツやカットソーというサブカテゴリで絞り込むための「Ｔシャツ・カットソー」ボタン、シャツやブラウスというサブカテゴリで絞り込むための「シャツ・ブラウス」ボタン、ポロシャツというサブカテゴリで絞り込むための「ポロシャツ」ボタン、ニットやセーターというサブカテゴリで絞り込むための「ニット・セーター」ボタンが表示されている。
【００８２】
表示領域Ｈ１４には、「ファッション」のカテゴリで抽出された複数の出品物を、１日あたりのレンタル料、又は買い切り価格で絞り込むための金額入力欄が夫々表示されている。これにより、借手ユーザＵＢは、予算の範囲内で、所望の出品物を効率よく探し出すことができる。
【００８３】
表示領域Ｈ１５には、「ファッション」のカテゴリで抽出された複数の出品物の撮像画像が、出品情報とともに表示されている。借手ユーザＵＢは、表示領域Ｈ１５に表示された、複数の出品物の撮像画像の中に、所望の出品物や気になる出品物を見つけると、その撮像画像を押下する操作を行う。例えば、出品物を示すボタンＢ１５１が押下されると、その出品物の詳細情報を示す画面が表示される。なお、ボタンＢ１５１が押下されたことにより表示される画面の具体例については、図８を参照して後述する。
【００８４】
図８は、図７の表示領域Ｈ１５に表示されたボタンＢ１５１が押下された場合に、貸手端末２及び借手端末３に表示される画面の具体例を示す図である。
【００８５】
貸手端末２及び借手端末３に表示される画面のうち、図８に示す画面は、表示領域Ｈ２１乃至Ｈ２６を含むように構成されている。
【００８６】
表示領域Ｈ２１には、「出品者情報」として、図８に示す出品物を出品した貸手ユーザＵＬのユーザ情報の一部が表示される。具体的には、出品者としての貸手ユーザＵＬの名前（出品　太郎）と、他のユーザからの評価の総件数（１４５）と、他のユーザからの評

価の内訳と、出品地域（北海道）とが表示されている。このうち、他のユーザからの評価の内訳には、「良い」と評価された件数（１００）と、「普通」と評価された件数（４０）と、「悪い」と評価された件数（５）とが表示されている。ここで、出品地域は、送料を考慮する際の重要な情報となる。

【００８７】

表示領域Ｈ２２には、「商品情報」として、出品物の出品情報の一部が表示されている。具体的には、出品物についての、１週間あたりのレンタル料（￥〇〇〇〇〇）、買い切り価格（￥〇〇〇〇〇）、状態（中古：★★★）、個数（１）、発送方法（宅配便）が表示されている。

【００８８】

表示領域Ｈ２３には、オーナーチェンジが可能であるか否かが記載されている。図８の例では、「オーナーチェンジ可」として、オーナーチェンジが可能である旨が表示されている。ここで、「オーナーチェンジ可」と表示された部分は、押下可能なボタンＢ２３１となっている。ボタンＢ２３１が押下されると、図９に示す、オーナーチェンジを行う操作を行うための画面に遷移する。なお、オーナーチェンジを行う操作の具体例は、図９を参照して後述する。

【００８９】

表示領域Ｈ２４には、出品物の撮像画像が複数枚表示されている。これにより、借手ユーザＵＢは、出品物の形態を容易に把握することができる。また、表示領域Ｈ２４には、借入申請を行う際に押下する「借りる」ボタンＢ２４１が表示されている。借手ユーザＵＢは、「借りる」ボタンＢ２４１を押下することにより、借入申請を行うことができる。

【００９０】

表示領域Ｈ２５には、出品物の説明文が表示されている。これにより、借手ユーザＵＢは、出品物に関する具体的な情報を容易に取得することができる。図８の例では、「＜商品説明＞」として、「値下げしました！美品です！５カ月程度貸出し後、自宅で保管していましたが再出品しました。ジャージ素材のため伸縮性があり、着心地が良いです。オフィスカジュアルにおすすめです。秋口にぴったりです。」という説明文が表示されている。

【００９１】

表示領域Ｈ２６には、ユーザ間で使用するコミュニケーションツールが表示されている。このコミュニケーションツールによれば、ユーザ間でメッセージのやり取りを行うことができるので、例えば出品物に関する詳細な情報のやり取りや、金額の交渉等を行うことが可能となる。その結果、ユーザ間のスムーズな取引を実現させることができる。具体的には、「是非お借りしたいのですが、もう少しお安くなりませんか？あと３０００円安くなれば即決します！」という、借手ユーザＵＢから貸手ユーザＵＬに対する質問メッセージと、「２０００円値下げします。是非ご検討ください。」という、貸手ユーザＵＬから借手ユーザＵＢに対する回答メッセージが例示されている。

【００９２】

図９は、図８の表示領域Ｈ２３に「オーナーチェンジ可」と表示されたボタンＢ２３１が押下された場合に、貸手端末２及び借手端末３に表示される画面の具体例を示す図である。

【００９３】

貸手端末２及び借手端末３に表示される画面のうち、図９に示す画面は、表示領域Ｈ３１乃至Ｈ３６を含むように構成されている。

【００９４】

表示領域Ｈ３１には、「出品者情報」として、図８に示す出品物を出品した貸手ユーザＵＬのユーザ情報の一部が表示される。なお、表示領域Ｈ３１に表示されている内容は、図８の表示領域Ｈ２１に表示されている内容と同一であるため説明を省略する。

【００９５】

表示領域Ｈ３２には、オーナーチェンジを打診するためのボタンＢ３２１が表示されて

いる。ボタンＢ３２１が押下されると、出品物の現在のオーナーに対し、オーナーチェンジしたい旨が通知される。

【００９６】

表示領域Ｈ３３には、「参考現在価格」として、現在のレンタル料（月額１００００円）と、「直近の月利」として、「１５％（月額１５０００円）」であることが表示されている。即ち、直近の１カ月で、貸し出すことにより得ることができたレンタル料（１５０００円）と、そのレンタル料が参考現在価格（１０００００円）に占める割合（１５％）であることが示されている。また、表示領域Ｈ３３には、「オークション価格を確認」と表示されたボタンＢ３３１も表示されている。ボタンＢ３３１が押下されると、他のオークションサイトに出品されている同一又は類似する出品物の取引価格が表示される。これにより、オークションで取引されている価格との比較が容易になる。

【００９７】

表示領域Ｈ３４には、「貸し出しログ」として、過去の貸出実績に関する情報が表示されている。これにより、出品物が、これまでどのような期間について、どのようなレンタル料で貸し出しがなされていたのかを一覧視することができる。つまり、誰が、どのような頻度で、どのくらいの金額で借り入れた物であるのか、また、その物の状態や評価はどのようなものであったのかをログとして一覧視することができる。

具体的には例えば、直近の貸し出しは、２０１８年2月２２日から同年3月２２までの１カ月間であり、そのレンタル料は、月額に換算すると１５０００円であることされている。なお、貸し出しログに示された具体例の他の内容は、図９の表示領域Ｈ３４に示すとおりである。

【００９８】

表示領域Ｈ３５には、「参考減価表」として、出品物のレンタル料の目安を示すグラフが表示されている。具体的には、縦軸を「レンタル料目安」とし、横軸を「時間」とするグラフ領域には、右下がりの直線Ｌ１と、横軸に垂直に交る直線Ｌ２とが表示されている。右下がりの直線Ｌ１は、出品物の買い切り額が４００００円である場合における、目安となるレンタル料を表している。横軸に垂直に交る直線Ｌ２は、現時点における貸し出しの条件を示している。

【００９９】

表示領域Ｈ３６には、ユーザ間で、出品物に関するメッセージのやり取りが表示されている。オーナーチェンジに関するメッセージのやり取りを行うこともできる。なお、表示領域Ｈ３１に表示されている内容は、図８の表示領域Ｈ２６に表示されている内容と同一であるため説明を省略する。

【０１００】

図１０は、貸手端末２及び借手端末３に表示されるマイページの具体例を示す図である。

【０１０１】

貸手端末２及び借手端末３に表示される画面のうち、図１０に示す画面は、表示領域Ｈ４１乃至Ｈ４７を含むように構成されている。

【０１０２】

表示領域Ｈ４１には、「新規出品」として、新規に出品を行う場合に押下されるボタンＢ４１１が表示されている。ボタンＢ４１１が押下されると、新規出品の操作を行うための画面に遷移する。なお、新規出品を行う操作の具体例は、図１１を参照して後述する。

【０１０３】

表示領域Ｈ４２には、「保有ポイント」として、ユーザが保有するポイントが表示されている。

表示領域Ｈ４３には、「売上額」として、ユーザが貸手ユーザＵＬとして売り上げた金額が表示されている。

このように、「ポイント」及び「売上額」は、いずれも本サービスにおいて流通される通貨として取り扱うことができる。このうち、ポイントは、各種キャンペーン等で付与さ

れる。また、出品物を損傷させることなく大切に借り入れを行っている優秀な借手ユーザＵＢとして評価された場合には、多くのポイントが付与される。ポイントは、レンタル料に充当することもできる。ただし、ポイントには有効期限（例えば獲得から半年間）が設けられている。売上額は、上述したように、いつでも現金で引き出すことができる。また、売上額は、レンタル料の支払いに充てることもできる。また、売上額をポイントに変更することもできる。さらに、レンタル料の支払いは、クレジットカード払いと、ポイント払いと、売上額からの充当との併用であってもよい。

【０１０４】

表示領域Ｈ４４には、「あなたへのお知らせ」として、本サービス提供者Ｍからユーザに対するお知らせが表示されている。具体的には、図１０に示す例では、「保有ポイントの有効期限が迫っています。」というお知らせが表示されている。

【０１０５】

表示領域Ｈ４５には、ユーザに対する取引上の連絡事項が表示されている。具体的には、図１０に示す例では、「出品中の○○○について質問が届いています。」というお知らせが表示されている。

【０１０６】

表示領域Ｈ４６には、「貸しているもの一覧」として、現在、他のユーザ（借手ユーザＵＢ）に貸出中の出品物の一覧が表示されている。一覧表示されている出品物の夫々には、ポイント数、貸出日数、買い切りができるようになるまでの日数が表示されている。また、オーナーチェンジの打診を受けた出品物については、その旨の表示がなされている。

【０１０７】

表示領域Ｈ４７には、「借りているもの一覧」として、現在、他のユーザ（貸手ユーザＵＬ）から借入中の出品物の一覧が表示されている。一覧表示されている出品物の夫々には、ポイント数、貸出日数、買い切りができるようになるまでの日数が表示されている。

【０１０８】

図１１は、新規出品の操作を行う場合の操作画面の具体例を示す図である。

【０１０９】

貸手端末２に表示される画面のうち、図１１に示す画面は、表示領域Ｈ５１乃至Ｈ５４を含むように構成されている。

【０１１０】

表示領域Ｈ５１には、「商品基本情報」として、新規に出品する物についての基本情報を入力する欄が表示されている。具体的には、基本情報として、Ｆａｃｅｂｏｏｋ（登録商標）に連動させるか否かを選択入力する欄、商品のカテゴリを選択入力する欄、商品のサブカテゴリを選択入力する欄等が表示されている。基本情報の入力が済み、「登録」と表示されたボタンＢ５１１が押下すると、基本情報が登録される。なお、基本情報は、図１１に表示された事項に限定されず、様々な事項を含めることができる。

【０１１１】

表示領域Ｈ５２には、「類似商品情報」として、新規に出品する物と類似する商品の、オークション等への出品状況を示す一覧が表示されている。このうち、「選択」と表示されたボタンＢ５２１が押下されると、その商品に関する情報が表示される。これにより、オークション等で取引されている価格や内容との比較が容易になる。

【０１１２】

表示領域Ｈ５３には、「類似商品からレンタル料を計算」として、新規に出品する物のレンタル料を妥当な水準とするための試算を行うためのツールが設けられている。具体的には、表示領域Ｈ５３のうち、表示領域Ｈ５３１には、目標利回りを入力する欄と、レンタル期間を入力する欄と、買い切りの有無を設定するチェック欄とが表示されている。

また、表示領域Ｈ５３のうち、表示領域Ｈ５３２には、新規出品に係る物のレンタル料として目安となる金額（１日あたり２５０円）が表示されている。

また、表示領域Ｈ５３のうち、表示領域Ｈ５３３には、試算により算出された「レンタル目安期間」として、新規出品に係る物のレンタル期間として目安となる期間が表示され

る。
【０１１３】
表示領域Ｈ５４には、「商品詳細情報」として、新規に出品する物についての詳細情報を入力する欄が表示されている。具体的には、詳細情報として、新規に出品しようとする物の撮像画像を登録する欄が表示されている。なお、詳細情報として入力する項目はこれに限定されず、複数設けることができる。詳細情報の入力が済み、「登録」と表示されたボタンＢ５４１が押下すると、詳細情報が登録される。
【０１１４】
図１２は、借手ユーザの所望する出品物が属すると予想されるカテゴリを選択する操作を行う場合に、借手端末に表示される操作画面の具体例を示す図である。
【０１１５】
借手端末３に表示される画面のうち、図１２に示す画面は、表示領域Ｈ６１乃至Ｈ６３を含むように構成されている。
【０１１６】
表示領域Ｈ６１には、メニューボタンとして、「探す」、「通知」、「アイテム」、「出品」、及び「その他」と夫々表記されたボタンが示されている。「探す」と表記されたボタンは、本サービスの利用者が借手ユーザＵＢとして所望の出品物を探し出すときに押下するボタンである。「通知」と表記されたボタンは、本サービスの利用者が、各種通知設定を行う際に押下するボタンである。「アイテム」と表記されたボタンは、本サービスの利用者が、出品物の一覧を表示させる際に押下するボタンである。なお、「アイテム」とは、出品物を意味する。「出品」と表記されたボタンは、本サービスの利用者が、貸手ユーザＵＬとして出品を行う際に押下するボタンである。
【０１１７】
このうち、「探す」と表記されたボタンが押下されると、図１２に示す画面が借手端末３に表示される。これにより、借手ユーザＵＢは、出品物の中から自身が所望する出品物が属すると予想されるカテゴリを選択し、そのカテゴリに属する出品物を一覧表示させることができる。
即ち、物をレンタルしようとする場合、同じような物の中から要件に合ったものを探す必要がある。こんため、本サービスでは、「粗い」検索でも「細かい」検索でもいずれも対応可能な検索機能が提供される。これにより、借手ユーザＵＢは、所望する出品物に素早くアクセスすることができる。なお、図１２に示される、カテゴリを選択するための操作画面は、「粗い」検索を行うための操作画面である。
【０１１８】
表示領域Ｈ６２には、簡易検索を行うためのキーワード入力欄Ｒ１６１が表示されている。借手ユーザＵＢは、「今すぐ借りたいものは．．．」と表記されたキーワード入力欄Ｒ１６１に、例えば自身が所望する出品物の名称等を直接入力することで簡易検索を行うことができる。
【０１１９】
表示領域Ｈ６３には、出品物のカテゴリの一覧が表示されている。表示領域Ｈ６３は、スワイプする操作を行うことで左右の方向にスライド表示させることができる。これにより、出品物のカテゴリの全てを借手端末３に表示させることができる。
なお、図１２の例では、カテゴリとして「工具・ＤＩＹ」、「映像機器」、「新着」、「レディース」、及び「メンズ」が表示されており、このうち「新着」が選択されている。
【０１２０】
表示領域Ｈ６４には、出品物のうち、表示領域Ｈ６３で選択されているカテゴリに属する出品物のサムネイル画像が、その出品物を示す情報の一部とともに一覧表示される。表示領域Ｈ６４は、スワイプする操作を行うことで上下の方向にスライド表示させることができる。これにより、表示領域Ｈ６３で選択されているカテゴリに属する出品物の全てを借手端末３に表示させることができる。

上述したように、図１２の例では、カテゴリとして「新着」が表示されているため、「新着」というカテゴリに属する出品物のサムネイル画像が、その出品物を示す情報の一部とともに一覧表示されている。具体的には例えば、図１２には、腕時計、自動車、ノート型のパーソナルコンピュータ、及びテニスラケットの４つの出品物の夫々について、サムネイル画像と、その出品物の名称（例えば「○○○」）と、１日あたりのレンタル料（例えば「￥○○○／日」）と、その出品物に対する評価（例えば「★５」）とが表示されている。借手ユーザＵＢは、気になる出品物を見つけた場合、出品物毎に表示されているハート形状が表記されたボタンＢ６０１を押下する。これにより、対象となる出品物は「お気に入り」として保存される。

【０１２１】

また、表示領域Ｈ６４には、「地図」と表記されたボタンＢ６０１が、出品物の一覧の一部に重畳するように表示されている。ボタンＢ６０１が押下されると、一覧表示されている出品物の受け渡しが可能な場所がプロットされた地図が表示される。

これにより、借手ユーザＵＢは、出品物を実際に受け取る場所を確認することができるので、自身の近くにある出品物で絞り込みを行うことができる。つまり、現在地からの距離を変数として絞り込みを行うことができる。

その結果、借手ユーザＵＢは、自身が所望する出品物の配送のためのコストを低減化させることができる。

なお、出品物の受け渡しが可能な場所がプロットされた地図の具体例については、図１４を参照して後述する。

【０１２２】

図１３は、借手ユーザの所望する出品物を探し出すための検索操作を行う場合に、借手端末に表示される操作画面の具体例を示す図である。

【０１２３】

借手端末３に表示される画面のうち、図１３に示す画面は、表示領域Ｈ７１乃至Ｈ７３を含むように構成されている。

【０１２４】

表示領域Ｈ７１には、借手ユーザＵＢが、出品物の中から自身が所望する出品物を探し出すために、借手端末３に一覧表示させる出品物の絞り込みを行うための操作ボタンが複数表示されている。

上述したように、本サービスでは、「粗い」検索でも「細かい」検索でもいずれも対応可能な検索機能が提供される。なお、図１３に示される、出品物の絞り込みを行うための操作画面は、「細かい」検索を行うための操作画面である。

【０１２５】

具体的には例えば、「カテゴリ」と表記されたボタンＢ７０１が押下されると、図示はしないが、カテゴリとサブカテゴリを選択できる画面が表示される。これにより、借手ユーザＵＢは、自身が所望する出品物が属すると予想されるカテゴリ及びサブカテゴリを選択することで、借手端末３に一覧表示させる出品物の絞り込みを行うことができる。

【０１２６】

また例えば、借手ユーザＵＢは、自身が借りたい期間を指定して絞り込むことができる。

即ち、借手ユーザＵＢは、自身が所望する出品物をレンタルする期間として希望する期間を入力することで、借手端末３に一覧表示させる出品物の絞り込みを行うことができる。

具体的には、「レンタル期間」という表記の右側に表示された、開始日と終了日との夫々を入力するためのボタンＢ７０２ａとＢ７０２ｂとの夫々が入力されると、入力された期間でレンタル可能な出品物が一覧表示される。

【０１２７】

また例えば、借手ユーザＵＢは、レンタル料ベースで絞り込みを行うことができる。

即ち、借手ユーザＵＢは、自身が所望する出品物のレンタル料として希望する額を入力

することで、借手端末３に一覧表示させる出品物の絞り込みを行うことができる。
具体的には、「レンタル料」という表記の右側に表示された、レンタル料の最低額と最高額との夫々を入力するためのボタンＢ７０３ａとＢ７０３ｂとの夫々が入力されると、その価格帯でレンタル可能な出品物が一覧表示される。
【０１２８】
また例えば、借手ユーザＵＢは、出品情報に売却の意思が含まれている出品物で絞り込みを行うことができる。
即ち、借手ユーザＵＢは、「買い切り」の対象となっている出品物のみを希望する旨を示す入力操作を行うことで、借手端末３に一覧表示させる出品物の絞り込みを行うことができる。
具体的には、「買い切り」という表記の右側に表示された、切替ボタンＢ７０４を押下することで、「買い切り」が「できる」出品物と、「買い切り」が「できない」出品物とを順次切り替えて一覧表示させることができる。
【０１２９】
借手ユーザＵＢは、借手端末３に表示させる出品物の金額の種類を選択することができる。これにより、借手ユーザＵＢは、出品物をレンタルしたい期間に対応するレンタル料を一見して知ることができる。
表示領域Ｈ７２には、借手端末３に表示させる出品物の金額の種類を設定するためのボタンとして、「日（１日）のレンタル料を表示」と表記されたボタンＢ７０５ａと、「週（７日）のレンタル料を表示」と表記されたボタンＢ７０５ｂと、「月（３０日）のレンタル料を表示」と表記されたボタンＢ７０５ｃとが表示されている。
借手ユーザＵＢは、１日のレンタル料を表示させたい場合にはボタンＢ７０５ａを押下し、１週間（７日間）のレンタル料を表示させたい場合にはボタンＢ７０５ｂを押下し、１カ月のレンタル料を表示させたい場合にはボタンＢ７０５ｃを押下する。なお、図１３の例ではボタンＢ７０５ａのみが押下されているが、さらにボタンＢ７０５ｂとボタンＢ７０５ｃとのうち少なくとも一方を押下することができる。即ち、借手ユーザＵＢは、１日のレンタル料と、１週間（７日間）のレンタル料と、１カ月のレンタル料とを全て表示させることもできるし、いずれか１つ又は２つを選択して表示させることができる。
【０１３０】
表示領域Ｈ７３には、「クリア」と表記されたボタンＢ７０６ａと、「検索」と表記されたボタンＢ７０６ｂとが表示されている。
借手ユーザＵＢは、表示領域Ｈ７１及びＨ７２に入力した内容で検索を実行する場合には、ボタンＢ７０６ｂを押下する。これにより、表示領域Ｈ７１及びＨ７２に入力した内容にマッチした出品物が一覧表示される。また、借手ユーザＵＢは、表示領域Ｈ７１及びＨ７２に入力した内容を取り消したい場合には、ボタンＢ７０６ａを押下する。これにより、表示領域Ｈ７１及びＨ７２に入力した内容がクリアされる。
【０１３１】
図１４は、借手ユーザの所望する出品物の受け渡し場所を確認する操作を行う場合に、借手端末に表示される操作画面の具体例を示す図である。
【０１３２】
借手端末３に表示される画面のうち、図１４に示す画面は、表示領域Ｈ８１と表示領域Ｈ８２とを含むように構成されている。
【０１３３】
表示領域Ｈ８１には、借手ユーザＵＢによる検索操作の結果として、検索条件にマッチする出品物が一覧表示される。図１４の例では、検索条件にマッチした３つの出品物Ｉ１乃至Ｉ３の夫々について、サムネイル画像、出品物の名称（例えば「○○○」）、レンタル期間（日、週、月）毎のレンタル料金（例えば「￥○○○／日」）が表示されている。また、出品者である貸手ユーザＵＬに対する他のユーザからの評価の総件数（例えば「１５０」）が出品物毎に表示されている。
【０１３４】

表示領域Ｈ８２には、表示領域Ｈ８１に一覧表示された出品物Ｉ１乃至Ｉ３の夫々の受け渡し場所を示す地図（ＭＡＰ）が表示されている。

このように、出品物毎の受け渡し場所が地図（ＭＡＰ）上に表示されるのは以下の理由による。

通常、ＥＣ（Ｅｌｅｃｔｒｏｎｉｃ　Ｃｏｍｍｅｒｃｅ）サイトやインターネットオークションで取引の対象とされた商品は、宅配便等の配送手段によって商品の購入者の手元に届けられる。ただし、商品の配送料は、商品の購入者が負担することが多いため、商品のサイズや大きさによっては商品そのものの金額よりも高い額の配送料を購入者が負担することになることが少なくない。その一方で、本サービスの借手ユーザＵＢの多くは、所望する物を安価で利用するべく、購入よりもレンタルを選択する。つまり、「購入するよりも借りた方が安く済む」がレンタルの趣旨である。このため、本サービスを利用して出品物をレンタルしたものの、配送料が高くついてしまい、結果的に近所の実店舗で購入した方が安かった、といった事態が生じるおそれもある。この場合、「購入するよりも借りた方が安く済む」というレンタルの趣旨が没却されることになる。

そこで、本サービスでは、出品者である貸手ユーザＵＬが、出品物の受け渡し場所として、直接手渡しする場所や、無人の宅配ロッカーを指定することができることとすることで、配送の効率化を実現させている。これにより、「購入するよりも借りた方が安く済む」というレンタルの趣旨が没却されることを防ぐことができる。

【０１３５】

本サービスでは、出品者である貸手ユーザＵＬは、出品物の受け渡し場所として、複数の場所（例えばＸ地点、Ｙ地点、及びＺ地点の３つの場所）を設定することができる。また、時間帯毎に受け渡し場所を変えることもできる。

具体的には例えば、出品物の受け渡し場所として、○○時～○○時まではＸ地点、○○時～○○時まではＹ地点、○○時～○○時まではＺ地点等、受け渡しを行う場所と時間帯とを細かく設定することができる。これにより、さらなる配送の効率化を実現させている。

【０１３６】

また、本サービスでは、貸手ユーザＵＬは、出品物の受け渡しの条件を細かく設定することもできる。具体的には例えば、出品物の受け渡しを行う場所や日時に応じてレンタル料を上下させることもできる。

これにより、例えば貸手ユーザＵＬが、借手ユーザＵＢの要望に応じて夜間や週末に出品物の受け渡しを行うように設定した場合には、平日の昼間に出品物の受け渡しを行うよりもレンタル料が高くなるように設定することもできる。また例えば、貸手ユーザＵＬは、借手ユーザＵＢの要望に応じて受け渡し場所を変更する場合には、レンタル料が高くなるように設定することもできる。これにより、出品者である貸手ユーザＵＬの利便性を高めている。

【０１３７】

表示領域Ｈ８２に表示された地図（ＭＡＰ）にプロットされた目印Ｐ１乃至Ｐ３の夫々には、表示領域Ｈ８１に一覧表示された出品物Ｉ１乃至Ｉ３の夫々のサムネイルｌ画像の左肩に付された数字と同じ数字が付されている。

具体的には例えば、表示領域Ｈ８１に表示された出品物Ｉ１の左肩には数字の「１」が付されているのに対し、表示領域Ｈ８２に表示された地図（ＭＡＰ）にプロットされた目印Ｐ１には数字の「１」が付されている。この場合、目印Ｐ１により示される位置が、出品者である貸手ユーザＵＬにより設定された出品物Ｉ１の受け渡し場所となる。これにより、例えば借手ユーザＵＢが出品物Ｉ１乃至Ｉ３のうちどれをレンタルしようか迷っている場合には、自分にとって都合の良い受け渡し場所となる出品物を選択してレンタルすることができる。

【０１３８】

表示領域Ｈ８２には、「ＭＡＰ検索設定」と表記されたボタンＢ８０１が表示されている。借手ユーザＵＢは、ボタンＢ８０１を押下することで、表示領域Ｈ８２に表示される

地図（ＭＡＰ）に関する各種設定（例えば縮尺の変更、表示される領域の指定等）を行うことができる。

【０１３９】

上述したように、本サービスを利用する借手ユーザＵＢは、貸手ユーザＵＬにレンタル料を支払って出品物をレンタルする。このとき、借手ユーザＵＢにより支払われるレンタル料は、貸手ユーザＵＬが出品時に設定した金額となる。即ち、貸手ユーザＵＬが出品する際、１日あたりのレンタル料のみを設定するだけで自動的に複数日間レンタルした場合の金額が算出される。

具体的には例えば、１日あたりのレンタル料金が５００円と設定された場合には、例えば１週間（７日間）、２週間（１４日間）、１カ月（３０日間）、２カ月（６０日間）の夫々についてのレンタル料が自動的に算出される。

ただし、本サービスでは、複数日間のレンタル料を算出する際、１日あたりのレンタル料に対して単にレンタル日数を乗じるのではなく、所定のロジックに基づいて最適化を行う。「最適化」は、例えば以下のようなロジックに基づいて行われる。即ち、１日レンタルするよりも長期間レンタルする方が１日あたりのレンタル料を割安にする、といったロジックや、出品物の劣化に合わせてレンタル料を減価させる、といったロジック基づいて「最適化」が行われる。

また、このほかにも「最適化」のロジックとして、「季節」、「週末」、「需給」等を変数とするロジックに基づいた最適化が行われる。具体的には例えば、主に冬季に需要がある石油ファンヒータは、夏季よりも冬季の方がレンタル料を割高になるように最適化が行われる。

【０１４０】

また、本サービスでは、借手ユーザＵＢから予算が提示されると、レンタル可能期間が自動的に算出される。これにより、借手ユーザＵＢは、面倒な計算を行う必要がなくなるので利便性が向上する。

具体的には例えば、自動車を５万円でレンタルしたいと考えている借手ユーザＵＢは、自分の予算（５万円）を提示するだけで、その予算（５万円）の範囲内でレンタル可能な期間（例えば１週間）を算出してもらうことができる。

【０１４１】

図１５は、貸手ユーザ及び借手ユーザの夫々が、出品物毎の貸出しの履歴を確認する操作を行う場合に、貸手端末及び借手端末の夫々に表示される操作画面の具体例を示す図である。

【０１４２】

貸手端末２及び借手端末３に表示される画面のうち、図１５に示す画面は、表示領域Ｈ９１乃至Ｈ９６を含むように構成されている。

【０１４３】

表示領域Ｈ９１には、「出品者情報」として、出品者である貸手ユーザＵＬのユーザ情報の一部が表示される。具体的には、図８の表示領域Ｈ２１と同様に、出品者としての貸手ユーザＵＬの名前（出品　太郎）と、他のユーザからの評価の総件数（１４５）と、他のユーザからの評価の内訳と、出品地域（北海道）とが表示されている。また、これら以外にも、表示領域Ｈ９１には出品物の受け渡しについての条件が表示されている。具体的には、出品物の手渡しの可否、出品者の送料負担の可否、出品者の保険料負担の可否、即日発送の対応の有無、メールによる連絡の可否、及び電話による連絡の可否の夫々について条件が表示されている。

図１５の例では、「手渡し　○」、「送料負担　×」、「保険負担　○」、「即日発送　×」、「メール連絡　○」、「電話連絡　○」と夫々表示されている。これは、出品者である貸手ユーザＵＬが、出品物の手渡しが可能、出品物の送料は負担しないが出品物の保険料は負担する、即日の発送には対応できない、メールや電話での連絡は対応可能である、ということを示している。

【０１４４】

表示領域Ｈ９２には、「商品情報」として、出品物の出品情報の一部が表示されている。具体的には、出品物についての、１日あたりのレンタル料、１週間あたりのレンタル料、１ケ月あたりのレンタル料、買い切り価格、出品物の状態が表示されている。

【０１４５】

表示領域Ｈ９３には、「レンタルログ　オーナーチェンジもこちら」と表記されたボタンＢ９０１が表示されている。ボタンＢ９０１は、図８のボタンＢ２３１、及び図９のボタンＢ３２１に相当するボタンである。ボタンＢ９０１が押下されると、出品物毎の貸出しの実績（以下、「レンタルログ」と呼ぶ）が表示領域Ｈ９５及びＨ９６に表示させたり、オーナーチェンジの打診が現在のオーナー（図１５の例では「出品　太郎」）通知される。

【０１４６】

表示領域Ｈ９４には、出品物のレンタルのスケジュールが、カレンダー形式で表示される。これにより、例えばレンタルが決まっている期間や、レンタルが不可能な期間等を色分けして表示することもできる。その結果、貸手ユーザＵＬや借手ユーザＵＢは、出品物のレンタルのスケジュールを一見し把握することができる。

【０１４７】

表示領域Ｈ９５には、レンタル料の推移を示すグラフが表示されている。貸手ユーザＵＬや借手ユーザＵＢは、表示領域Ｈ９５に表示されたグラフから、出品物のレンタル料の推移を一見し把握することができる。

また、表示領域Ｈ９５に表示された切替ボタンＢ９０２を「ＯＮ」にすることで、同一のカテゴリに属する類似の出品物のレンタル価格の推移を重畳的に表示させることができる。

具体的には例えば、図１５の例では、グラフにプロットされた曲線Ｌ１１が、対象となる出品物のレンタル料の推移を示し、曲線Ｌ１２が、対象となる出品物と同一のカテゴリに属する類似の出品物のレンタル料の推移を示している。

これにより、貸手ユーザＵＬや借手ユーザＵＢは、表示領域Ｈ９５に表示されたグラフから、対象となる出品物と、その出品物と同一のカテゴリに属する類似の出品物とを比較しながら、夫々のレンタル料の推移を一見して把握することができる。

図１５の例では、対象となる出品物と同一のカテゴリに属する類似の出品物のレンタル料の逓減率よりも、対象となる出品物のレンタル料の逓減率の方が大きいことが一見して把握できる。このため、「将来性が薄い」と判断して、例えば対象となる出品物をオーナーチェンジの対象から外すといった選択も可能となる。

【０１４８】

表示領域Ｈ９６には、出品物のレンタルログとして、レンタル期間、１日あたりのレンタル料、評価者（実際に借りた借手ユーザＵＢ）、及び評価者による評価の具体的内容の履歴が一覧表示されている。貸手ユーザＵＬや借手ユーザＵＢは、表示領域Ｈ９６に一覧表示されたレンタルログから、出品物に対する評価の内容と、その推移を一見し把握することができる。

【０１４９】

このように、レンタルログが貸手端末２及び借手端末３の夫々に表示されることにより、貸手ユーザＵＬ及び借手ユーザＵＢの夫々は、出品物のレンタル料、及び評価者からの評価の夫々の履歴を一見して把握することができる。

ここで、貸手ユーザＵＬが借手ユーザＵＢに物を貸して（レンタルして）その利用料を得るという行為は、投資家が行う投資と同じであるともいえる。即ち、貸手ユーザＵＬが出品のために物を購入する行為や、オーナーチェンジは、投資家が投資物件を購入することと同一視することもできる。つまり、物品を貸し出してレンタル料を得るということは、安定的な利回りを得るということと同義である。このため、個人又は法人が物を投資目的で購入し、それを貸し出す行為が活発化すると、不動産業界でいうところの「収益還元法」に近い考え方に基づいたマーケットを提供することができるようになる。換言すると、従来の「値付け」とは異なる方法によって物品の流通価格が決定されるマーケットを提

供することができるようになる。
このため、貸手ユーザＵＬや、オーナーチェンジを打診する借手ユーザＵＢ等は、投資物件としての物を購入する際、その物の収益性を測ることは有用である。図１５に示すレンタルログは、まさに物の収益性を測るための有用な情報となる。
【０１５０】
また、本サービスでは、ブロックチェーン技術を用いて、レンタルログや、出品物の所有権の所在を示す情報を保存することができる。
ブロックチェーン技術は、データの改ざん、破壊等を防ぐ機能を有する、分散型ネットワーク技術である。ブロックチェーン技術によれば、伝送単位のデータブロックに、生成値の予測が困難なハッシュ値等が付加されるとともに、これが時系列に沿って追加されていくことでデータの改ざんが更に困難化される。
【０１５１】
図１５を参照して上述したように、出品物の利回りや出品物に対する過去の評価は、レンタルログとしてブロックチェーン等に保存される。レンタルログは、その出品物の履歴を示す情報であり、レンタルという性質上、貸手ユーザＵＬや借手ユーザＵＢの判断の拠り所となる重要な情報となる。即ち、レンタルログは、レンタルの対象となる出品物の重要な資産として取り扱われ、オーナーチェンジ後も引き継がれる。
【０１５２】
上述したように、本サービスでは、出品物に対する評価の他、ユーザ（貸手ユーザＵＬ及び借手ユーザＵＢ）に対する評価が行われる。ユーザに対する評価は、所定期間が経過するまでは変更することができる。
具体的には例えば、レンタル期間が経過後、一定期間（例えば１週間）が経過するまではユーザに対する評価をいつでも変更できる、とすることもできる。
【０１５３】
図１６は、物をレンタルしている借手ユーザが、レンタル期間の延長申請を行う場合の処理の流れを示すイメージ図である。
【０１５４】
本サービスは、借手ユーザＵＢがレンタル期間の延長申請を気軽に行うことを可能とするＧＵＩや仕組みが整えられている。
即ち、本サービスを利用する借手ユーザＵＢは、レンタル期間の延長を希望する場合、以下のようにして延長の申請を行う。
【０１５５】
借手ユーザＵＢは、本来の契約期間中（返却日が到来する前）に延長申請を行う（ステップＳＳ３１）。
ここで、レンタル期間の延長申請は、追加のレンタル料の支払いとともに行われる。このため、決済サーバ４において、オーソリゼーション（以下、「オーソリ」と呼ぶ）が行われる。オーソリとは、決済前にクレジットカードの利用枠を押さえる処理ことをいう。オーソリが完了すると、延長申請が正式に認められ、その旨が貸手ユーザＵＬに通知される。
【０１５６】
延長申請が正式に認められた旨の通知を受けた貸手ユーザＵＬは、延長申請に対する承認又は否認を決定する（ステップＳＳ３２）。なお、このタイミングで、延長申請を行っている借手ユーザＵＢと、貸手ユーザＵＬとの間で、延長期間についての交渉を行うことができる。これにより、貸手ユーザＵＬは、延長申請された期間に対して単に承認するか否認するか決定するだけではなく、承認可能な期間を提示できるようになる。このため、例えば次のレンタル期間までの空いた期間を適宜考慮しつつ、承認可能な期間を提示することもできるので、利便性が向上する。
貸手ユーザＵＬが延長申請を承認すると、決済サーバ４において、追加のレンタル料についての決済処理が実行される。即ち、本サービスでは、延長申請に対する承認が行われたタイミングで決済を即時完了させることができる。

これに対し、貸手ユーザＵＬが延長申請を否認すると、決済サーバ４において、オーソリ枠が解放される。即ち、追加のレンタル料についての決済処理を行うために押さえられていた利用枠が解放される。

【０１５７】

図１７は、借手ユーザがレンタル期間の延長申請を行う場合に、借手端末に表示されるの操作画面の具体例を示す図である。

【０１５８】

借手端末３に表示される画面のうち、図１７に示す画面は、表示領域Ｈ１０１乃至Ｈ１０５を含むように構成されている。

【０１５９】

表示領域Ｈ１０１には、延長申請を行う借手ユーザＵＢに対する案内として、延長申請を行ったとしても貸手ユーザＵＬによる承認がなければ延長されない旨を説明する文章と、延長申請を行えることができる期限を説明する文章と、本来の契約期間の満了日となる返却日とが表示されている。

なお、図１７の例では、延長申請を行えることができる期限が「返却日の４日前」、本来の契約期間の満了日となる返却日が「このアイテムの返却日：２０１９年１月３０日」と表示されている。

【０１６０】

表示領域Ｈ１０２には、延長後のレンタル期間終了日として借手ユーザＵＢが希望する日（以下、「延長希望日」と呼ぶ）を選択して入力するためのボタンＢ１１１が表示されている。

なお、図１７の例では、延長希望日は、「２０１９／０６／２１」と表示されている。

【０１６１】

表示領域Ｈ１０３には、表示領域Ｈ１０２のボタンＢ１１１に入力された延長希望日（２０１９年６月２１日）で延長申請が承認された場合における追加のレンタル料のシミュレーション結果が表示されている。

なお、図１７の例では、「延長希望日：２０１９年６月２１日」、「２０日間レンタル」、「３ケ月　@１００，０００円　１，３００，０００円」、「＋２週間　@５０，０００円　２００，０００円」、「＋２９日　@１，５００円　５０，０００円」、「消費税　８％　１，０００円」、「合計　３００，０００円」と表示されている。

【０１６２】

表示領域Ｈ１０４には、追加のレンタル料を支払方法の内容が表示されている。支払方法の変更は、「変更」と表記されたボタンＢ１１２を押下することで行うことができる。

【０１６３】

表示領域Ｈ１０５には、「延長申請＆決済」と表記されたボタンＢ１１３が表示されている。借手ユーザＵＢは、ボタンＢ１１３を押下することで、追加のレンタル料の支払いを含む延長申請を行うことができる。

【０１６４】

図１８は、商品を貸している貸手ユーザが、レンタル期間の延長申請に対応する操作を行う場合に、貸手端末に表示される操作画面の具体例を示す図である。

【０１６５】

貸手端末２に表示される画面のうち、図１８に示す画面は、表示領域Ｈ１１１乃至Ｈ１１３を含むように構成されている。

【０１６６】

表示領域Ｈ１１１には、延長申請を行った借手ユーザＵＢと交渉を行う場合についての説明文が表示されている。また、その説明文には、「メッセージ」と表記されたボタンＢ２１１が表示されている。貸手ユーザＵＬは、ボタンＢ２１１を押下することで、借手ユーザＵＢと交渉を行うためのメッセージを作成することができる。作成されたメッセージは借手ユーザＵＢに提示されるので、延長申請に関する交渉を効率よく行うことができる。

【０１６７】
また、表示領域Ｈ１１１には、図１７の表示領域Ｈ１０３に表示された追加のレンタル料のシミュレーション結果と同一の内容が表示されている。貸手ユーザＵＬは、表示領域Ｈ１１１に表示された内容を確認して、延長申請に対する承認又は否認を決定する。
【０１６８】
表示領域Ｈ１１１には、延長申請に対する処理の内容を選択して入力するボタンＢ２１２が表示されている。延長申請を承認する場合、貸手ユーザＵＬは、例えば図１８に示すように、「延長が可能です」と表記された選択肢を選択する。これに対し、延長申請を否認する場合、貸手ユーザＵＬは、例えば「延長できません」と表記された選択肢を選択する。また、延長期間について借手ユーザＵＢとの間で調整がついている場合、貸手ユーザＵＬは、例えば「延長は可能だが延長希望日を変更してもらう。」と表記された選択肢を選択する。
【０１６９】
また、本サービスによれば、以下のような機能を実現させることができる。
【０１７０】
即ち、本サービスは、インフレーション（貨幣価値の低下）のリスクヘッジに利用することができる。これにより、売上金をプールすることができる。インフレーション時には、モノ（物やサービス）が稼ぐお金が相対的に大きくなっていく。即ち、今日１万円で購入できたモノ（物やサービス）が、明日は１万円で購入できなくなるような事態が生じ得る。このため、インフレーション時にモノ（物やサービス）が稼いだお金（即ち売上金）を用いて、新たに物をレンタルしたり、オーナーチェンジしたりすることで、価値が低下する貨幣を、価値が低下し難い物に換えて保有する。具体的には、売上金、又は売上金をポイントに交換して、新たに物を借りたり、オーナーチェンジしたりする。また、ポイントのデポジットも可能である。
【０１７１】
また、本サービスでは、物の破損や盗難が発生した場合、保険申請フォーム（図示せず）に所定事項を入力することにより、直接保険会社へ賠償申請を行うことができる。これにより、貸手ユーザＵＬは、安心して物を貸し出すことができる。また、借手ユーザＵＢは、安心して物をレンタルして使用することができる。
【０１７２】
また、本サービスでは、貸手ユーザＵＬの他、本サービス提供者Ｍも運営側の立場で、代理で出品することができる。
また、本サービスでは、借手ユーザＵＢの他、本サービス提供者Ｍも運営側の立場で、出品物をレンタルすることができる。また本サービス提供者Ｍは、運営側の立場で、レンタルした物を出品（また貸し）することができる。
さらに、本サービス提供者Ｍは、運営側の立場で、複数の物を購入し、又は複数の出品物をレンタルして、これらの組合せからなるパッケージの単位で貸すこと（又はまた貸しすること）ができる。
【０１７３】
また、本サービスでは、レンタル期間終了時の物の配送について、柔軟な変更が可能となる。即ち、一般的なレンタルサービスでは、レンタル期間終了後、借り主から貸し主に返却されるのが通常である。しかしながら、これでは配送期間がロスタイムとなり、貸手ユーザＵＬの収益のチャンスが棄損されることになる。
そこで、本サービスでは、レンタル期間が前後する借主の夫々の住所等が参照されることで、物の返却先が、貸手ユーザＵＬから次の借手ユーザＵＢに変更することができる。具体的には、配送先の出し分けを行う設定が行われる。
これにより、物の効率的な配送が可能となる。また、匿名配送を利用することもできるので、前の借手ユーザＵＢが返却した物がどこに配送されたのかを意識させないようにすることができる。
また、出品物が衣服であるなど、次の借手ユーザＵＢが使用する前にクリーニングを行

う必要がある場合には、前の借手ユーザＵＢのレンタル期間の終了後、物の配送先を所定のクリーニング店とすることもできる。また、クリーニングを要しない物である場合には、物の配送先を所定の保管庫とすることもできる。

【０１７４】

また、本サービスによれば、セール・アンド・リースバック取引が可能となる。「セール・アンド・リースバック取引」とは、資産を売却したうえで借り入れる取引のことをいう。

即ち、セール・アンド・リースバック取引とは、ある者が利用を継続する物について、（１）ある者から貸手ユーザＵＬに所有権のみ移転させ、（２）ある者が借手ユーザＵＢとして貸手ユーザＵＬからレンタルする、という取引である。

これにより、借手ユーザＵＢ（即ち「ある者」）は、自分が使用している物について、貸手ユーザＵＬに所有権を譲渡するものの、その後も自ら継続して利用することができることになる。その結果、例えば物の売却時の季節を要因とする機会損失のリスクを回避することができる。

具体的には例えば、学生服は、通常３月初頭に特に需要が集中するので、高く売るためには３月の初頭に売却することが望ましい。しかしながら、学生服の売主は、当然ながら卒業式がある３月下旬まで着用したい。そこで、学生服の売主は、本サービスを利用してセール・アンド・リースバック取引を行うことで、例えば３月の初頭に学生服を売却するとともにレンタルし、卒業式までレンタル料を支払って使用することもできる。この場合、学生服を購入した貸手ユーザは、卒業式が終わった後に他者に転貸（また貸し）することもできる。

【０１７５】

また、本サービスでは、従来にはない独自の与信の手法が採用されている。物のレンタルの分野では、人と人との信頼関係が前提となるので、本サービスが提供されるうえで与信は非常に重要な要素となる。このため、様々な角度から与信審査が行われることで担保の確保が図られている。

具体的には例えば、レンタルログを第三者に公開して与信審査に用いることができるようにすることで、より正確な与信を実現させることができる。

これにより、例えば毎月１０万円のレンタル料を支払い、特に支払遅延等ないのであれば、その者の信用は高いと判断することもできる。

また例えば、担保材料として、様々なデジタルアカウントを紐付けることができる。具体的には、各種のＳＮＳやゲームのアカウントとしてのＩＤやパスワードを担保として採用することもできる。

【０１７６】

図１９は、出品物の撮像手法の具体例を示す図である。

【０１７７】

上述したように、借手ユーザＵＢは、出品物を返却する際、借手端末３を操作することにより、出品物を撮像する。これは、レンタル開始時とレンタル終了時（返却時）との２つのタイミングで撮像された出品物画像を比較することで、レンタル期間中に付いた傷等を明らかにするためである。このため、２つのタイミングで撮像された夫々の撮像画像は、比較可能なように同一の角度、同一の大きさで撮像される必要があるが、撮像を行うのは一般人であることが通常であるため、比較可能な撮像画像を撮像することは困難である。

そこで、図１９に示す撮像ツールを用いて撮像する。これにより、一般人であっても、比較可能な撮像画像を撮像することができる。具体的には、図１９に示すように、出品情報に含まれる出品時の撮像画像ＧＡ７１を、カメラ（借手端末３）にレイヤードさせる。この状態（撮像画像ＧＡ７１が表示された状態）のまま、レンタル期間が満了した出品物の現物ＧＢ７１にカメラ（借手端末３）のレンズを向ける。すると、図１２に示すように、撮像画像ＧＡ７１と現物ＧＢ７１とが重なり合った状態でカメラ（借手端末３）に表示される。ここで、撮像画像ＧＡ７１と現物ＧＢ７１とが同ポジション（完全に重なり合っ

た状態）になるようにカメラ（借手端末３）の向きや距離を調節すると、同ポジションになったタイミングで撮像ボタンＢ７１が活性化され、撮像が可能となる。これにより、一般人であっても、比較可能な撮像画像を撮像することができる。

【０１７８】

また、本サービスでは、出品物の撮影画像から３Ｄ画像が生成されるので、上下左右あらゆる方向からの自由な閲覧が可能となる。これにより、レンタル前後の比較や、出品物の真贋の鑑定を行うことができる。

【０１７９】

以上、本発明の一実施形態について説明したが、本発明は、上述の実施形態に限定されるものではなく、本発明の目的を達成できる範囲での変形、改良等は本発明に含まれるものである。

【０１８０】

例えば、上述の実施形態では、借手ユーザＵＢは、出品物の借入申請を行うことで問題なく物品を借り入れることができる構成となっているが、このような構成に限定されない。例えば、複数の借入申請者が存在し得る構成としてもよい。この場合、オークション形式を採用して、落札者が出品物を借り入れることができるようにしてもよい。オークション形式を採用した場合、落札者を決定する際の競合要素として、価格以外のものを採用してもよい。価格以外の競合要素としては、例えば、他のユーザからの評価、保有ポイント数等を採用することができる。これにより、真摯な心構えで本サービスを利用しようとするユーザの増加を見込むことができるので、ＣｔｏＣの取引で生じ易い不正行為やトラブルの発生を防ぐことができる。

【０１８１】

また例えば、上述の実施形態では、レンタルの対象となる物は、目に見える物が例示されているが、目に見える物に限定されず、人間のスキルや権利といったような目に見えない物であってもよい。また、これらの目に見えない物を権利証等の形で目に見える物で代用したものであってもよい。例えば、ゴルフの会員券は、目に見えない「ゴルフをプレーする権利」を代用した目に見える物として取り扱われる。

【０１８２】

また例えば、上述の実施形態において、出品物は、単品（ジャケット、ハンドバック、時計等）で取引されている例が紹介されているが、出品物（即ち、レンタルの対象となる物）は、単品に限られない。例えば、全１０巻のコミックについて、９巻のみ持っていないユーザが、「１～８巻，及び１０巻からなるコミック」を出品することもできる。この場合、仮に９巻のみを持っているユーザが存在すれば、「１～８巻，及び１０巻からなるコミック」に対し、借入申請を行ったり、買取申請を行ったりする場合がある。さらに、この９巻のみを持っているユーザは、「１～８巻，及び１０巻からなるコミック」を借り入れたり、買い取ったりすることで、全１０巻のコミックを揃え、他のユーザに所定期間貸し出すこともできる（いわゆるまた貸し）。

【０１８３】

また例えば、図６乃至図１５、及び図１７乃至１９に示す貸手端末２又は借手端末３の夫々に表示されるＧＵＩの構成は例示に過ぎない。本サービスを実現可能なＧＵＩであれば、図６乃至図１５、及び図１７乃至１９に示すＧＵＩの構成以外のものを採用することができる。

【０１８４】

また、図３に示すハードウェア構成は、本発明の目的を達成するための例示に過ぎず、特に限定されない。

【０１８５】

また、図４に示す機能ブロック図は、例示に過ぎず、特に限定されない。即ち、上述した一連の処理を全体として実行できる機能が情報処理システムに備えられていれば足り、この機能を実現するためにどのような機能ブロックを用いるのかは、特に図４の例に限定されない。

【０１８６】
　また、機能ブロックの存在場所も、図４に限定されず、任意でよい。
　また、１つの機能ブロックは、ハードウェア単体で構成してもよいし、ソフトウェア単体で構成してもよいし、それらの組み合わせで構成してもよい。
【０１８７】
　各機能ブロックの処理をソフトウェアにより実行させる場合には、そのソフトウェアを構成するプログラムが、コンピュータ等にネットワークや記録媒体からインストールされる。
　コンピュータは、専用のハードウェアに組み込まれているコンピュータであってもよい。また、コンピュータは、各種のプログラムをインストールすることで、各種の機能を実行することが可能なコンピュータ、例えばサーバの他汎用のスマートフォンやパーソナルコンピュータであってもよい。
【０１８８】
　このようなプログラムを含む記録媒体は、各ユーザにプログラムを提供するために装置本体とは別に配布される、リムーバブルメディアにより構成されるだけではなく、装置本体に予め組み込まれた状態で各ユーザに提供される記録媒体等で構成される。
【０１８９】
　なお、本明細書において、記録媒体に記録されるプログラムを記述するステップは、その順序に添って時系列的に行われる処理はもちろん、必ずしも時系列的に処理されなくとも、並列的或いは個別に実行される処理をも含むものである。
【０１９０】
　また、本明細書において、システムの用語は、複数の装置や複数の手段等より構成される全体的な装置を意味するものである。
【０１９１】
　以上まとめると、本発明が適用される情報処理装置は、次のような構成を取れば足り、各種各様な実施形態を取ることができる。
　即ち、本発明が適用される情報処理装置（例えば管理サーバ１）は、
　物（例えば出品物）の貸し出しを希望する１以上の第１ユーザ（例えば図１の貸手ユーザＵＬ１乃至ＵＬｎ）と、当該物の借り入れを希望する１以上の第２ユーザ（例えば図１の借手ユーザＵＢ１乃至ＵＢｍ）とを支援する情報処理装置であって、
　前記１以上の第１ユーザの夫々から提供された、前記物に関する情報を、出品情報として取得する出品取得手段（例えば図５の出品取得部１０１）と、
　前記出品取得手段により取得された１以上の前記出品情報を、前記１以上の第２ユーザに提示する出品提示手段（例えば図５の出品提示部１０２）と、
　前記第２ユーザから、前記物を借り入れたい旨の申請があった場合に、これを借入申請として受け付ける借入受付手段（例えば図５の借入受付部１０３）と、
　前記第１ユーザに対し、前記借入申請があった旨を提示する借入提示手段（例えば図５の借入提示部１０４）と、
　を備える。
　これにより、物を貸し出すことを希望する１以上の個人と、当該物の借り入れを希望する１以上の個人とのマッチングを効率よく行うことができる、ＣｔｏＣレンタルプラットフォームを提供することができる。
【０１９２】
　また、前記借入申請を行った前記第２ユーザに対し、前記物の借り入れに必要となる費用（例えばレンタル料、保険料）を提示する費用提示手段（例えば図５の費用提示部１０５）と、
　前記費用の決済が完了した場合に、当該決済の完了を示す情報を取得する決済取得手段（例えば図５の決済取得部１０６）と、
　前記費用のうち所定額を売上額として計上し、これを管理する売上管理手段（例えば図５の売上管理部１０７）と、

前記決済が完了した旨を前記第１ユーザに提示する決済提示手段（例えば図５の決済提示部１０８）と、
前記１以上の第１ユーザの夫々から、前記売上額のうち少なくとも一部を引出したい旨の申請があった場合に、これを引出申請として受け付ける引出受付手段（例えば図５の引出受付部１０９）と、
前記引出申請の内容に基づいて、前記売上額のうち前記１以上の第１ユーザの夫々が引出すことができる額を決定する引出決定手段（例えば図５の引出決定部１１０）と、
をさらに備えることができる。
これにより、上述の売上管理処理を実行することができる。即ち、本サービスによる取引に付随する金銭の流れを効率よく管理することができる。

【０１９３】
また、前記第１ユーザは、前記物の貸し出しの希望に加えて、当該物の売却の希望が可能であり、
前記第２ユーザは、前記物の借り入れの希望に加えて、当該物の買い取りの希望が可能であり、
前記１以上の第１ユーザの夫々から提供された前記出品情報には、前記物の売却の可否に関する情報が夫々含まれており、
前記１以上の第２ユーザのうち所定の者から前記物を買い取りたい旨の申請があった場合に、これを買取申請として受け付ける買取受付手段（例えば図５の買取受付部１１１）と、
前記１以上の第１ユーザのうち、前記物の売却の可否に関する前記情報として当該物の売却が可能である旨を示す情報が含まれる前記出品情報を提供した者に対し、前記買取申請があった旨を提示する買取提示手段（例えば図５の買取提示部１１２）と、
をさらに備えることができる。
これにより、上述のオーナーチェンジ処理を実行することができる。

【０１９４】
また、前記出品情報には、前記物の撮像画像が含まれ、
前記物の借入期間（例えばレンタル期間）の満了時に、当該満了時の前記物の撮像画像を少なくとも含む返却情報を受け付ける返却受付手段（例えば図５の返却受付部１１３）と、
前記出品情報に含まれる撮像画像と、前記返却情報に含まれる撮像画像とを比較し、差異点を抽出する比較抽出手段（例えば図５の比較抽出部１１４）と、
をさらに備えることができる。
これにより、上述の画像診断処理を実行することができる。

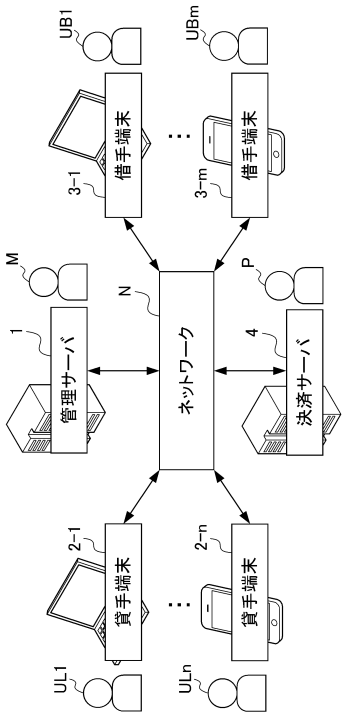
【０１９５】
また、前記第２ユーザが前記物を受け取った時点における、前記物の現物の形態と、前記出品情報に含まれる撮像画像に表示された前記物の形態との間の差異について、前記物を借り入れた前記第２ユーザによる承認がなされた場合に、これを受け付ける借入承認受付手段（例えば図５の借入承認受付部１１５）と、
前記第１ユーザに前記物が返却された時点における、前記物の現物の形態と、前記返却情報に含まれる撮像画像に表示された前記物の形態との間の差異について、前記物を貸し出した前記第１ユーザによる承認がなされた場合に、これを受け付ける返却承認受付手段（例えば図５の返却承認受付部１１６）と、
をさらに備えることができる。
これにより、上述の画像診断処理の実効性を高めることができる。

【０１９６】
また、前記物に関連する他の物の取引実績を取得する関連取得手段（例えば図５の関連取得部１１７）と、
取得された前記他の物の取引実績に基づいて、前記物の前記費用の価格帯を提示する参考額提示手段（例えば図５の参考額提示部１１８）と、

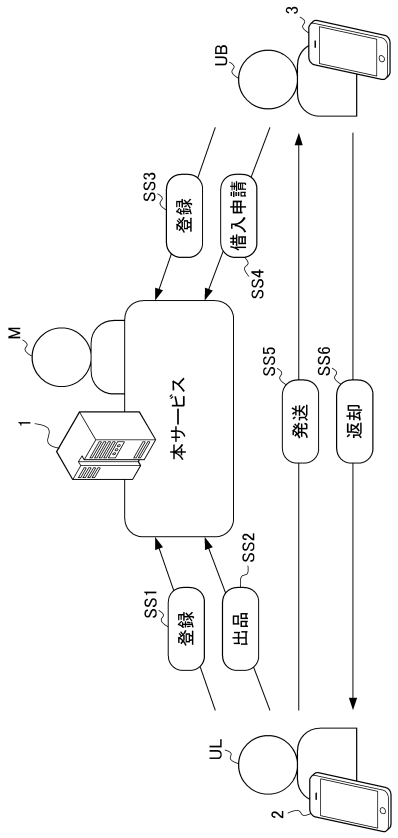
をさらに備えることができる。
これにより、上述の適正額決定処理を実行することができる。
【０１９７】
また、前記物を借り入れた前記第２ユーザからの、当該物を貸し出した前記第１ユーザと当該物のうち少なくとも一方に関する評価、又は、当該物を貸し出した前記第１ユーザからの、当該物を借り入れた前記第２ユーザと当該物のうち少なくとも一方に関する評価を受け付ける評価受付手段をさらに備え、
前記参考額提示手段は、前記物についての前記費用の履歴（例えば図１５の曲線Ｌ１により示されるレンタルログ）及び前記評価受付手段により受け付けられた前記評価の履歴と、前記物に関連する他の物についての前記費用の履歴（例えば図１５の曲線Ｌ２により示される類似する出品物のレンタル料の推移）及び前記評価受付手段により受け付けられた前記評価の履歴とをさらに提示することができる。
【０１９８】
これにより、物の借り入れに必要となる費用及び評価の履歴と、その物に関連する他の物に類似する物の借り入れに必要となる費用及び評価の履歴とを比較することができる。
【０１９９】
また、前記出品提示手段は、前記１以上の前記出品情報として、前記物の受け渡しを行う場所に関する情報（例えば図１４の地図（ＭＡＰ））を少なくとも含む情報を前記１以上の第２ユーザに提示することができる。
【０２００】
これにより、物の受け渡し場所として、直接手渡しする場所や、無人の宅配ロッカーを指定することができるので、配送を効率化させることができる。
その結果、「購入するよりも借りた方が安く済む」というレンタルの趣旨が没却されることを防ぐことができる。
【０２０１】
また、前記第１ユーザから前記第２ユーザに貸し出される前記物には、当該第２ユーザから当該第１ユーザに対して譲渡された物であって、当該第２ユーザが継続して使用する物を含めることができる。
これにより、セール・アンド・リースバック取引が可能となる。
【符号の説明】
【０２０２】
１：管理サーバ、２、２－１、２－ｎ：貸手端末、３、３－１、３－ｍ：借手端末、４：決済サーバ、１１：ＣＰＵ、１２：ＲＯＭ、１３：ＲＡＭ、１４：バス、１５：入出力インターフェース、１６：出力部、１７：入力部、１８：記憶部、１９：通信部、２０：ドライブ、３０：リムーバブルメディア、１０１：出品取得部、１０２：出品提示部、１０３：借入受付部、１０４：借入提示部、１０５：費用提示部、１０６：決済取得部、１０７：売上管理部、１０８：決済提示部、１０９：引出受付部、１１０：引出決定部、１１１：買取受付部１１１、１１２：買取提示部、１１３：返却受付部、１１４：比較抽出部、１１５：借入承認受付部、１１６：返却承認受付部、１１７：関連取得部、１１８：参考額提示部、４０１：ユーザＤＢ、４０２：出品ＤＢ、Ｈ１乃至Ｈ５，Ｈ１１乃至Ｈ１５，Ｈ２１乃至Ｈ２６，Ｈ３１乃至Ｈ３６，Ｈ４１乃至Ｈ４７，Ｈ５１乃至Ｈ５４，Ｈ６１乃至Ｈ６４，Ｈ７１乃至Ｈ７３，Ｈ８１，Ｈ８２，Ｈ９１乃至Ｈ９６，Ｈ１０１乃至Ｈ１０５，Ｈ１１１乃至Ｈ１１３，Ｈ５３１乃至Ｈ５３３，Ｈ５４１：表示領域、Ｂ１１，Ｂ１２，Ｂ２１，Ｂ７１，Ｂ１１１乃至Ｂ１１３，Ｂ１５１，Ｂ２１１乃至Ｂ２１３，Ｂ２３１，Ｂ２４１，Ｂ３２１，Ｂ３３１，Ｂ４１１，Ｂ６０１，Ｂ６０２，Ｂ７０１乃至Ｂ７０６ｂ，Ｂ８０１，Ｂ９０１，Ｂ９０２：ボタン、Ｍ４１，Ｍ５１：マーク、ＧＡ７１：出品時の撮像画像、ＧＢ７１：レンタル期間が満了した出品物の現物、Ｌ１，Ｌ２：直線、ＳＳ１乃至ＳＳ６：本サービスにおける各ステップ、ＳＳ２１乃至ＳＳ２５：決済サービスにおける各ステップ、ＳＳ３１及びＳＳ３２：延長申請における各ステップ、Ｐ：決済サービス提供者、Ｍ：本サービス提供者、Ｎ：ネットワーク、ＵＬ，ＵＬ１，ＵＬ

ｎ：貸手ユーザ、ＵＢ，ＵＢ１，ＵＢｎ：借手ユーザ、Ｒ１６１：入力欄、Ｉ１乃至Ｉ３：出品物、Ｐ１乃至Ｐ３：目印、Ｌ１１，Ｌ１２：曲線

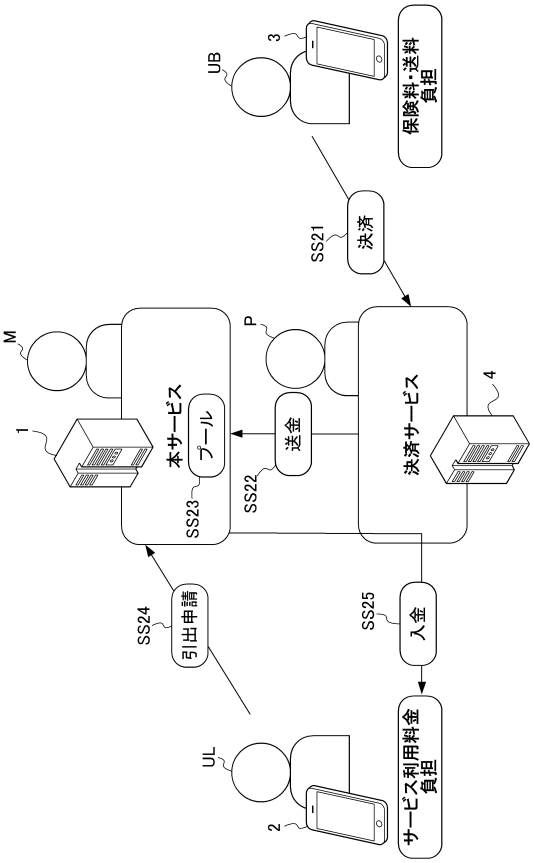
【図１】



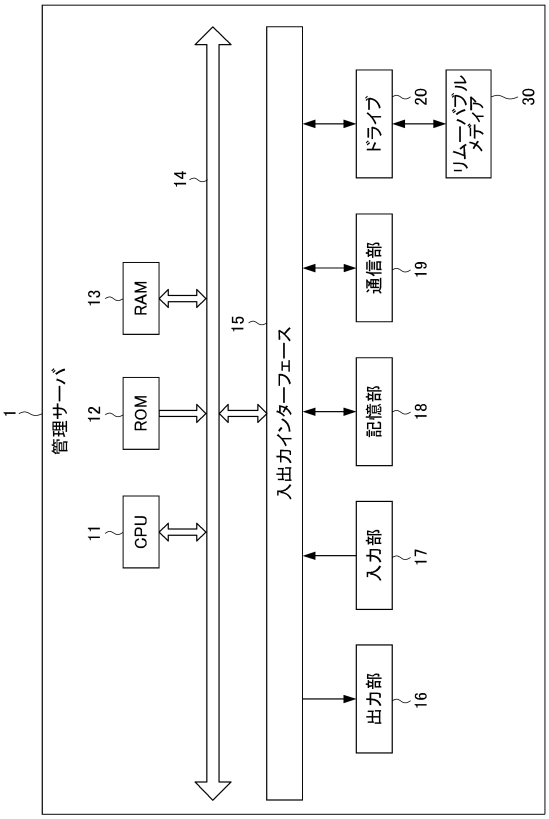
【図２】



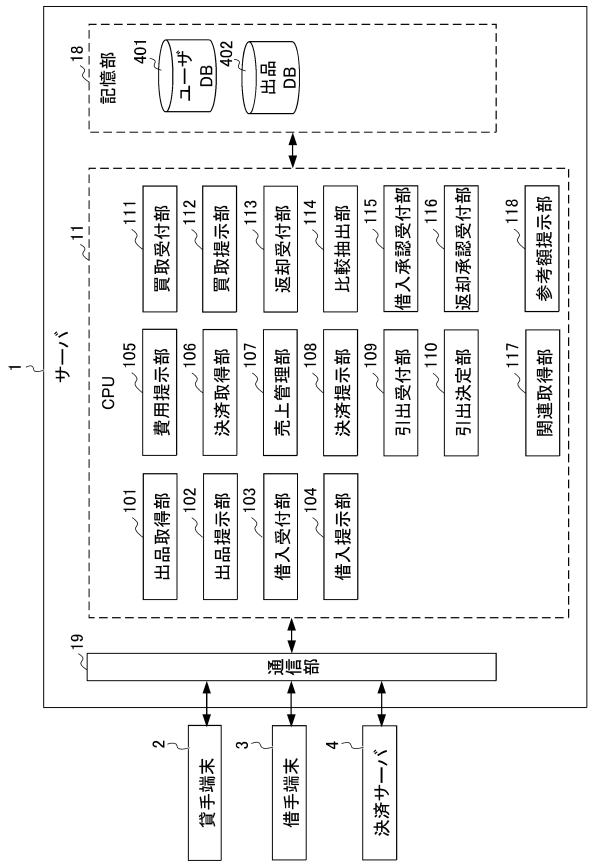
【図３】


UB
3
保険料・送料負担
SS21
決済
M
P
本サービス
プール
送金
決済サービス
1
4
SS22
SS23
SS24
引出申請
SS25
入金
サービス利用料金負担
UL
2

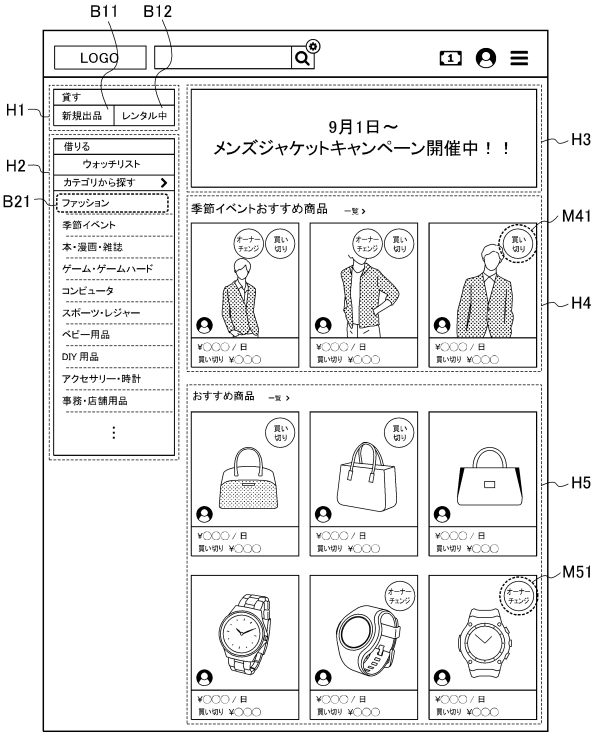
【図４】


1
管理サーバ
CPU
11
ROM
12
RAM
13
14
15
入出力インターフェース
入力部
17
出力部
16
記憶部
18
通信部
19
ドライブ
20
リムーバブルメディア
30

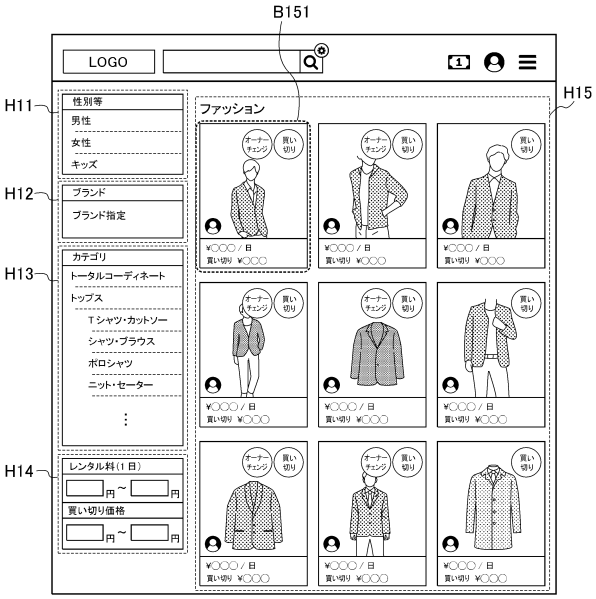
【図５】


1
サーバ
CPU
11
18
記憶部
401
ユーザDB
402
出品DB
出品取得部
101
出品提示部
102
借入受付部
103
借入提示部
104
買取受付部
111
買取提示部
112
返却受付部
113
比較抽出部
114
借入承認受付部
115
返却承認受付部
116
参考額提示部
118
費用提示部
105
決済取得部
106
売上管理部
107
決済提示部
108
引出受付部
109
引出決定部
110
関連取得部
117
19
通信部
2
貸手端末
3
借手端末
4
決済サーバ

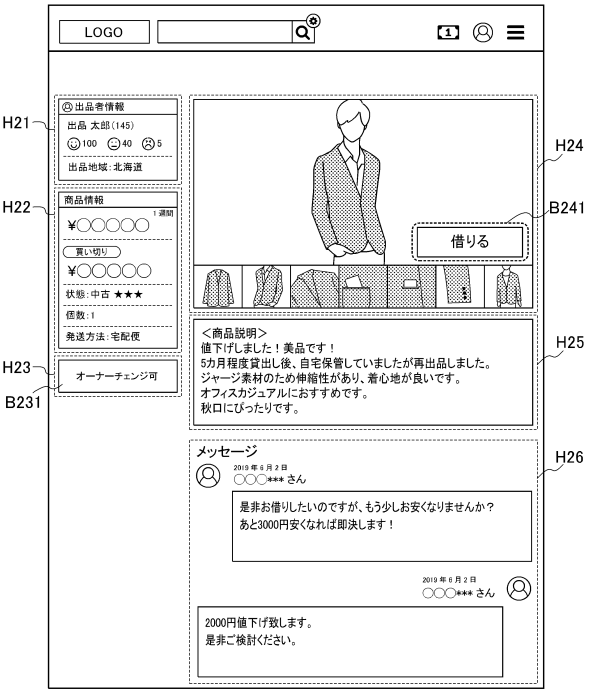
【図６】


B11
B12
LOGO
H1
貸す
新規出品
レンタル中
借りる
ウォッチリスト
H2
カテゴリから探す
B21
ファッション
季節イベント
本・漫画・雑誌
ゲーム・ゲームハード
コンピュータ
スポーツ・レジャー
ベビー用品
DIY 用品
アクセサリー・時計
事務・店舗用品
9月1日～
メンズジャケットキャンペーン開催中！！
H3
季節イベントおすすめ商品
M41
H4
おすすめ商品
H5
M51

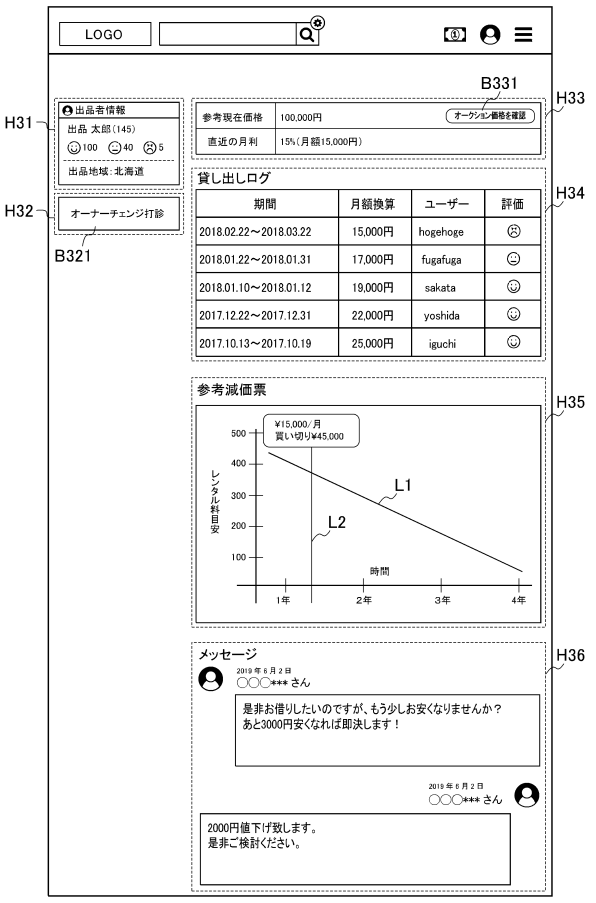
【図７】


B151
LOGO
H11
性別等
男性
女性
キッズ
H12
ブランド
ブランド指定
H13
カテゴリ
トータルコーディネート
トップス
Tシャツ・カットソー
シャツ・ブラウス
ポロシャツ
ニット・セーター
H14
レンタル料（1日）
円～
円
買い切り価格
円～
円
H15
ファッション
オーナーチェンジ
買い切り

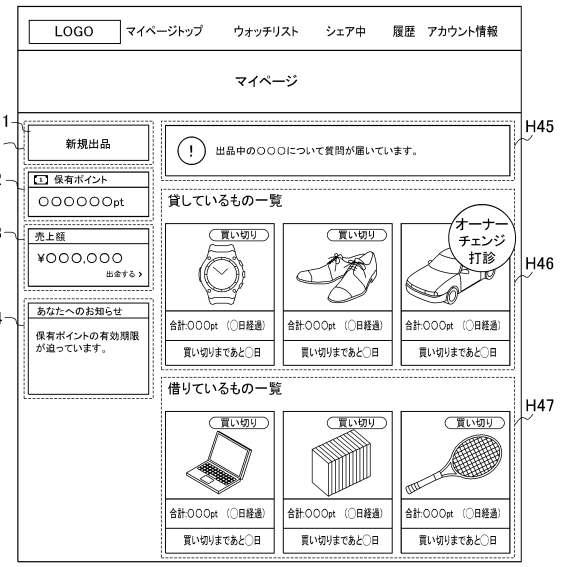
【図８】


LOGO
H21
出品者情報
出品 太郎(145)
出品地域：北海道
H22
商品情報
買い切り
状態：中古 ★★★
個数：1
発送方法：宅配便
H23
オーナーチェンジ可
B231
H24
B241
借りる
H25
＜商品説明＞
値下げしました！美品です！
5カ月程度貸出し後、自宅保管していましたが再出品しました。
ジャージ素材のため伸縮性があり、着心地が良いです。
オフィスカジュアルにおすすめです。
秋口にぴったりです。
H26
メッセージ
2019年6月2日
○○○*** さん
是非お借りしたいのですが、もう少しお安くなりませんか？
あと3000円安くなれば即決します！
2019年6月2日
○○○*** さん
2000円値下げ致します。
是非ご検討ください。

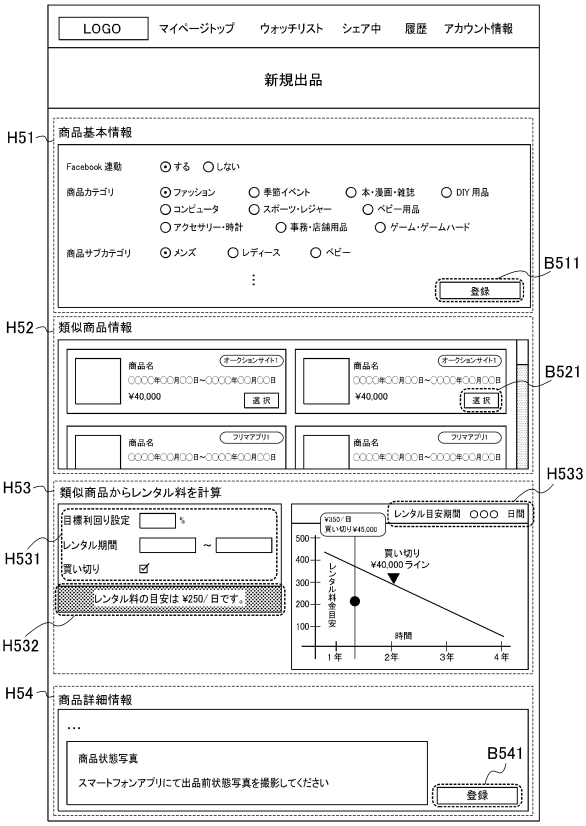
【図９】


LOGO
H31
出品者情報
出品 太郎(145)
出品地域：北海道
H32
オーナーチェンジ打診
B321
B331
H33
参考現在価格 100,000円
オークション価格を確認
直近の月利 15%(月額15,000円)
貸し出しログ
H34
期間 月額換算 ユーザー 評価
2018.02.22～2018.03.22 15,000円 hogehoge
2018.01.22～2018.01.31 17,000円 fugafuga
2018.01.10～2018.01.12 19,000円 sakata
2017.12.22～2017.12.31 22,000円 yoshida
2017.10.13～2017.10.19 25,000円 iguchi
参考減価票
H35
¥15,000/月
買い切り¥45,000
レンタル料目安
500
400
300
200
100
L1
L2
時間
1年
2年
3年
4年
メッセージ
H36
2019年6月2日
○○○*** さん
是非お借りしたいのですが、もう少しお安くなりませんか？
あと3000円安くなれば即決します！
2019年6月2日
○○○*** さん
2000円値下げ致します。
是非ご検討ください。

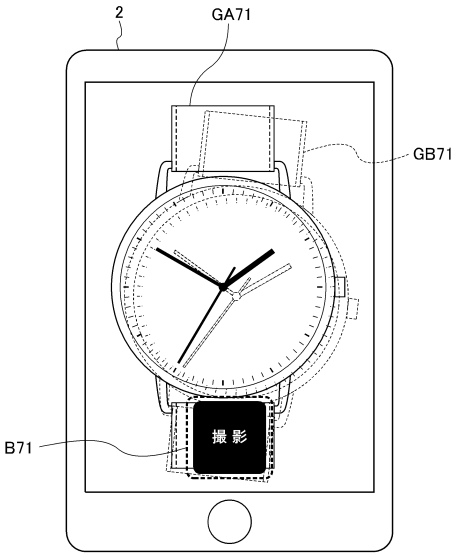
【図１０】


LOGO
マイページトップ
ウォッチリスト
シェア中
履歴
アカウント情報
マイページ
B411
新規出品
H41
H42
保有ポイント
○○○○○○pt
H43
売上額
¥○○○,○○○
出金する
H44
あなたへのお知らせ
保有ポイントの有効期限が迫っています。
H45
出品中の○○○について質問が届いています。
貸しているもの一覧
H46
買い切り
オーナーチェンジ打診
合計○○○pt （○日経過）
買い切りまであと○日
借りているもの一覧
H47

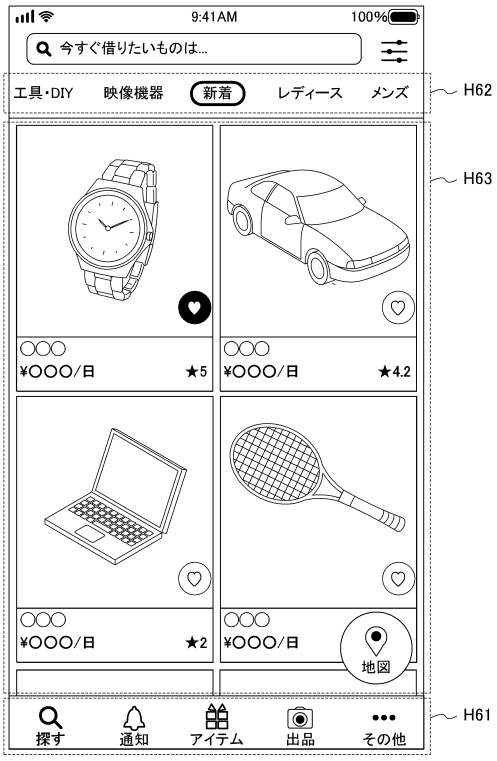
【図１１】



【図１２】



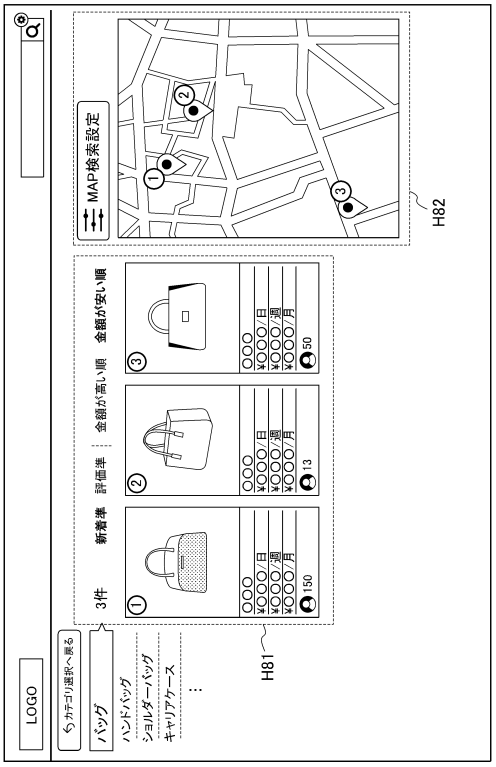
【図１３】



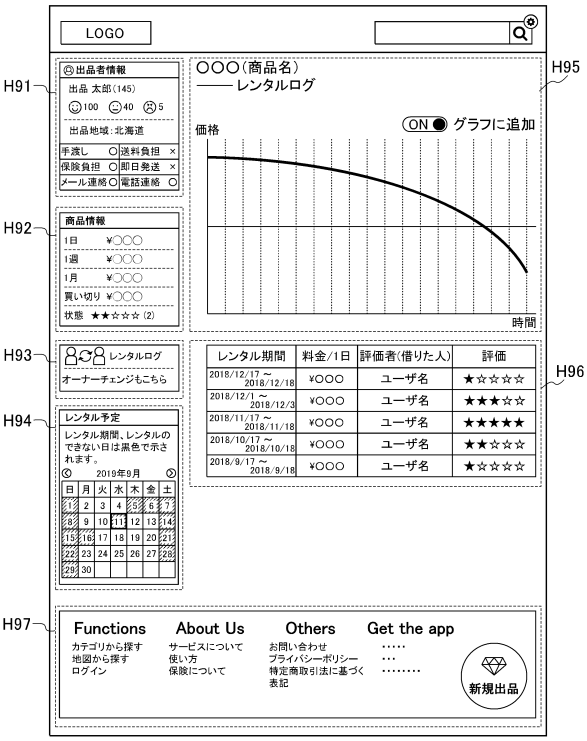
【図１４】



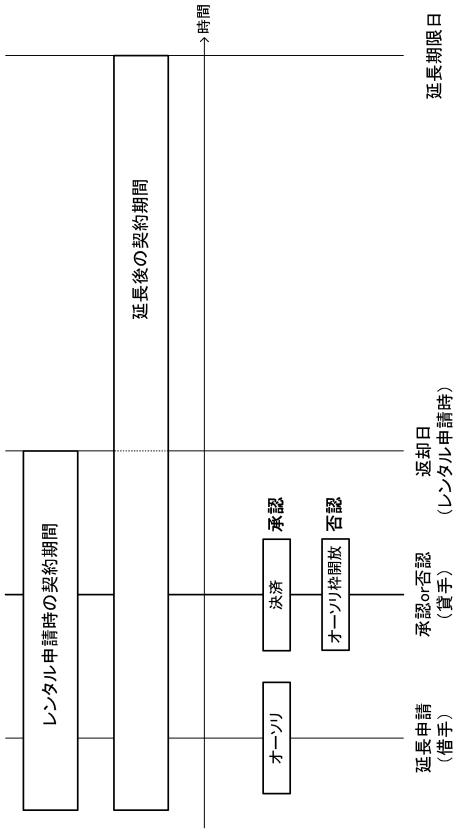
【図１５】



【図１６】



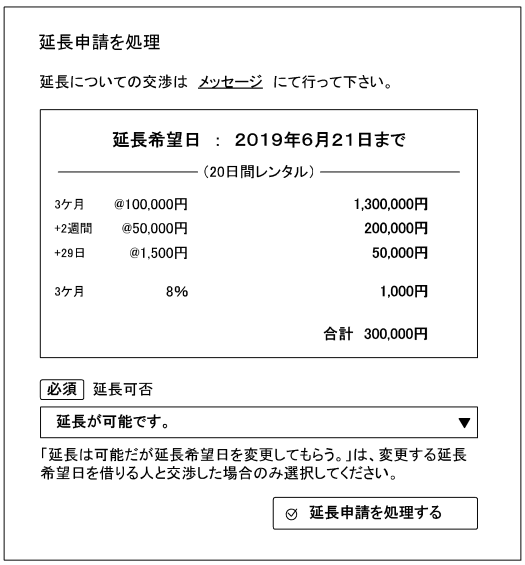
【図１７】



【図１８】



【図１９】


延長申請を処理
延長についての交渉は メッセージ にて行って下さい。
延長希望日 ： 2019年6月21日まで
（20日間レンタル）
3ケ月 @100,000円 1,300,000円
+2週間 @50,000円 200,000円
+29日 @1,500円 50,000円
3ケ月 8% 1,000円
合計 300,000円
必須 延長可否
延長が可能です。
「延長は可能だが延長希望日を変更してもらう。」は、変更する延長希望日を借りる人と交渉した場合のみ選択してください。
延長申請を処理する

フロントページの続き

(56)参考文献 特開２０１１－１５９１９５（ＪＰ，Ａ）
特開２０１３－０９２９２０（ＪＰ，Ａ）
特開２００７－２８０２４５（ＪＰ，Ａ）
特開２００２－１４９７９７（ＪＰ，Ａ）
特開２０１７－０９７８５０（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
Ｇ０６Ｑ １０／００－９９／００
Ｇ０６Ｆ １６／９０３２